MITSUBISHI

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

三菱 DLP® プロジェクター

形名

LVP-XD560

取扱説明書

DATA
PROJECTOR

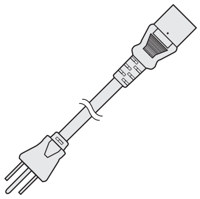
PJLink®

このたびは三菱 DLP® プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

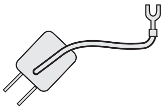
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■ 電源関係

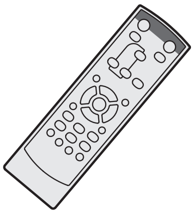


電源コード

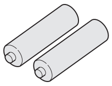


変換アダプター

■ リモコン関係

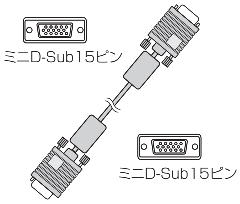


リモコン



単三乾電池(2本)

■ 映像関係



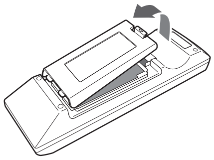
コンピューターケーブル

■ その他

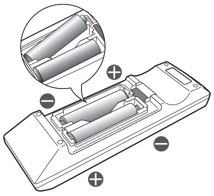
- レンズキャップ
- ランプ交換用アタッチメント
- CD-ROM
- 取扱説明書/クイックスタートアップ
- 保証書
- 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ソフトキャリングケース

- 付属の電源コード・変換アダプターは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

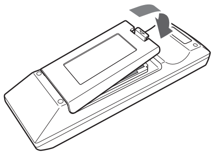
リモコンに乾電池を入れる



1 リモコン裏面のフタをはずす



2 乾電池の（＋）、（－）をよく確かめて、（－）側から正しく入れる
- 乾電池を（＋）側から入れると、（－）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。



3 裏面のフタを付ける
- 乾電池は、単三乾電池（AA、R6）を 2 本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2 本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンから乾電池を取り出す

- リモコンの裏面のフタをはずし、乾電池を取り出してください。

⚠注意

- **乾電池は、7 ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」をよく読んで、正しくお使いください。使用を誤ると、液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）。**
- **このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできなければなりません。**
- **本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。**
- **J55022 クラス B 装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のコンピューターケーブルとシールドされた LAN ケーブルをご使用ください。**
- **本機は必ず接地してください。**

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください……4
各部のなまえ……8
　本体のなまえ……8
　リモコンのなまえ……9
リモコンの使いかた……10

映像を見る

コンピューターの映像を見る……11
　A. コンピューターと接続する……11
　B. 電源コードを差し込む……12
　C. 投写する……12
プレゼンテーションを演出する……16
　映像と音声を一時的に消す（AV ミュート）……16
　画面を拡大して見る（画面拡大機能）……16
　起動時および AV ミュート時などの画面を変更する……17
ビデオ機器の映像を見る……18
　A. ビデオ機器と接続する……18
　B. 電源コードを差し込む……19
　C. 投写する……19
3D 映像を見る……22

設定・調整する

メニューを使って設定する……23
　メニュー遷移図……23
　メニューの設定のしかた……24
　メニューで設定できること……25
映像を調整する……33
　映像の明るさを調整する（ブライトネス、コントラスト）……33
　独自の白の色合いを設定する（色温度のユーザー設定）……33
　色を調整する（色の濃さ、色調）……33
　映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）……33
　カラーマネージメント……33
　独自の明るさと色合いを設定する（画像のユーザー設定）……34
　コンピューター映像の調整……34

その他

ネットワークを設定する……35
便利な表示機能……40
パスワードを設定する……48
コンピューターによる監視と制御……49
設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた……51
光源ランプを交換する……52
故障かなと思ったら……55
索引……58
　端子について……58
仕様……59
　別売品……59
　接続できる信号の種類……60
インジケーターの見かた……61
保証とアフターサービス……62

商標および著作権について

- DLP®（Digital Light Processing®）、DMD、BrilliantColor™は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 2000、WindowsXP、Windows Vista、Windows 7、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Pentium は、インテルコーポレーションまたはその子会社の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Mac は、Apple Inc. の商標です。
- PJLink は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- Crestron RoomView Connected は、Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能（21 ページ）を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え（16：9）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠ 警告

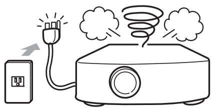
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください（62 ページ参照）。

プラグを抜く

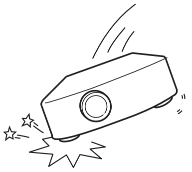
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く !!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

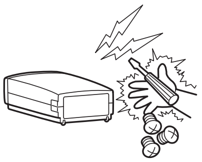


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

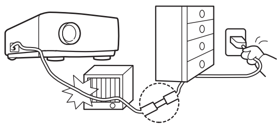


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

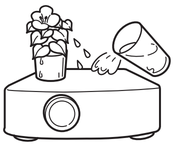
コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

次のようなことはしない（つづき）

レンズをのぞかない

禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

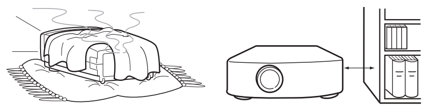
使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない（壁から 50cm 以上離す）
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

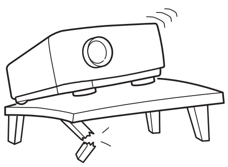
雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

次のような場所に置かない

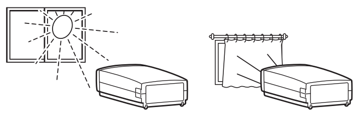
不安定な場所には置かない



禁止

（特に上下逆さまに置いた状態で）ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

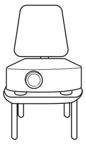
直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



禁止

火災や故障の原因となります。

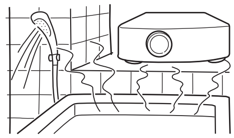
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない

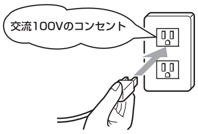


水場での
使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流 100V

交流 100V 以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。また、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。

可燃性の溶剤（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを近くで使用しない

禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

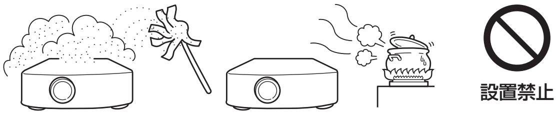
安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

次のような場所には置かない

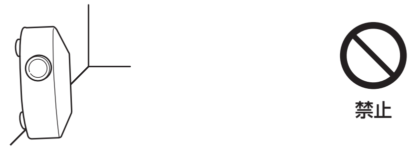
設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 屋外または空調設備のない場所
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 海岸近くなど、塩分の多いところ
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



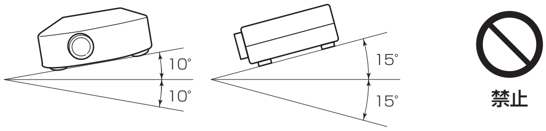
このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

立てた状態で置かない



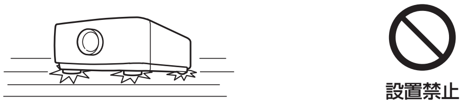
倒れて、けがや故障の原因となります。

傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して± 10 °、前後方向に対して± 15 °を超えて傾けた状態で動作させないでください。

ワックスのかかった床に直接置かない



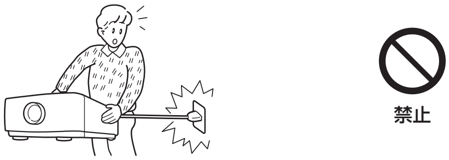
床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

重いものを置かない、踏み台にしない

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

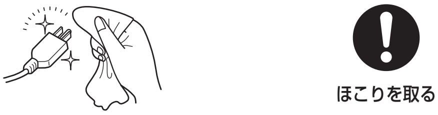
電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない



電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1 年に 1 回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

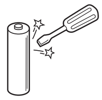
⚠注意

乾電池の取り扱いについて

新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

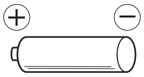
禁止

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。



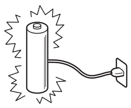
禁止

プラス（+）とマイナス（−）の向きを正しく入れる。



正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

- 乾電池は、（−）側から入れてください。
  乾電池を（+）側から入れると、（−）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの乾電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

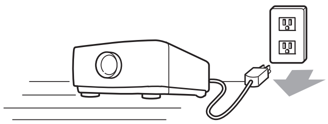
その他

1 年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむりなどにより内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災、故障や光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約 90 秒間**待ったあと、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約 90 秒間待つのは、光源ランプを冷やすために吸･排気ファンが回っているからです。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

海抜 1500m 以上での使用は避ける

海抜 1500m 以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。

注意

このプロジェクターは日本国内専用です

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

日本専用

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

天吊り時のランプ交換は、ランプ交換用アタッチメントを使用してください

ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。

注意

結露した状態で使用しない

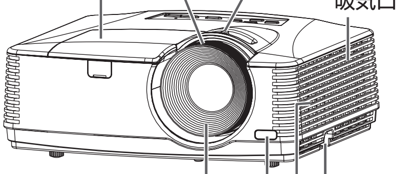
結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

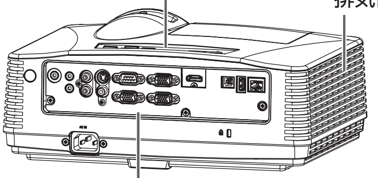
禁止

各部のなまえ

本体のなまえ（○は参照ページ）

本体





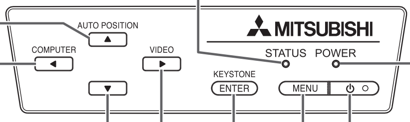
⚠注 意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。
さわるとやけどの原因となります。

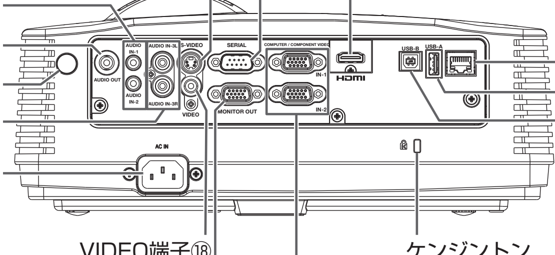
ソフトキャリングケース収納時

本機をソフトキャリングケースに収納する際は、レンズ側を上にして入れてください。また、レンズを守るため、フォーカスリングとズームリングを回してレンズが一番短くなる状態にして収納してください。

操作部

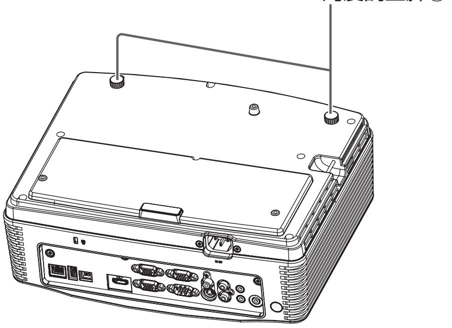


端子部

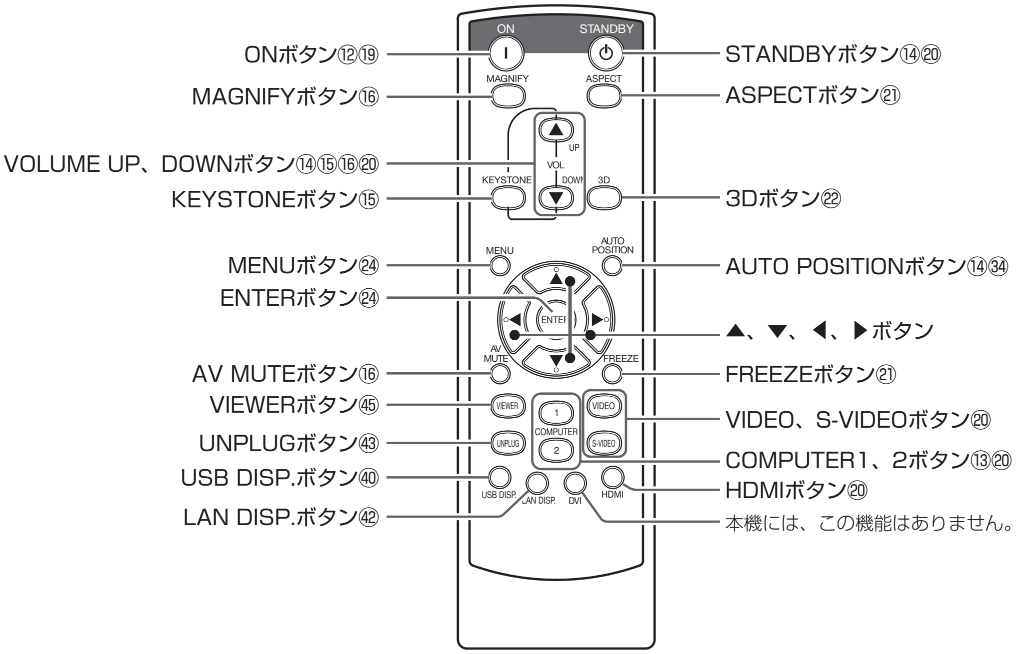


※1：チェーン等で結束できます。
※2：コンピューターで本機を制御するときに使用します。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

底面部



リモコンのなまえ（◯は参照ページ）



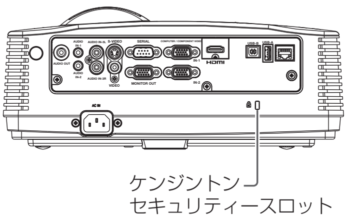
こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington 社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

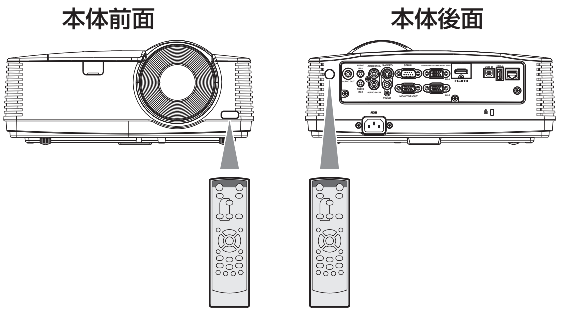
七陽商事株式会社 情報機器事業部
103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨウビル
TEL : 03-3663-7740
FAX: 03-3669-2367

注）連絡先等は変更になる可能性があります。ご了承ください。



リモコンの使いかた

操作距離範囲

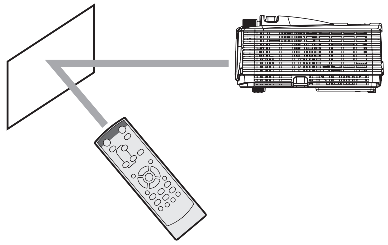


本体のリモコン受光部（前面または後面）に向け、正面で約10m 以内のところから操作します。

お知らせ

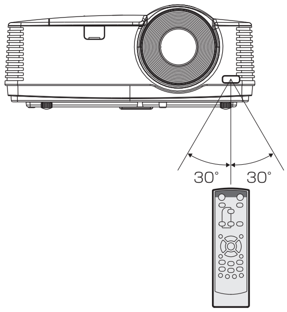
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は 2m 以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバーター方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。

スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンおよびスクリーンから本機までの合わせた距離が約 5m 以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

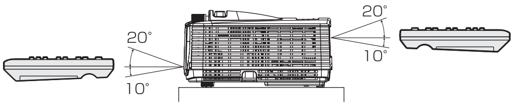


操作角度範囲

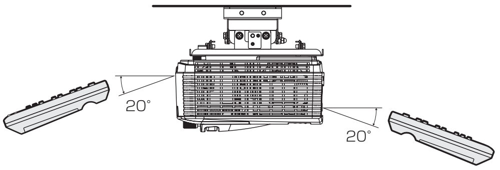
左右方向



上下方向（床置き時）



上下方向（天吊り時）



コンピューターの映像を見る

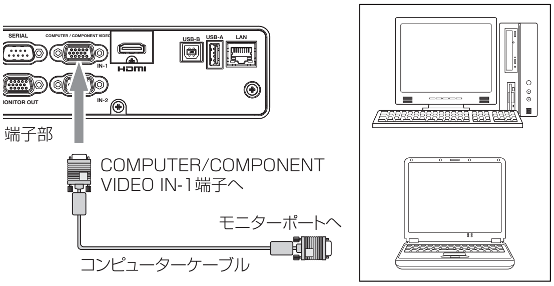
A. コンピューターと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプのコンピューターの場合、モニターに接続されているコンピューターケーブルをはずす

アナログ RGB（ミニ D-Sub15 ピン）端子付きコンピューターと接続する



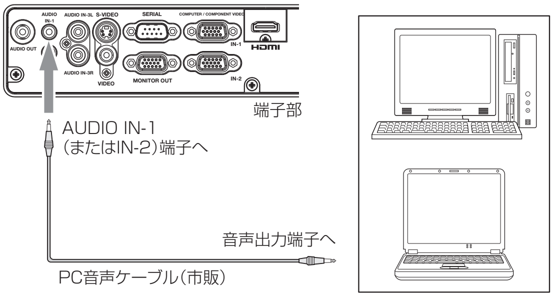
1 付属のコンピューターケーブルを本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または IN-2）端子に接続する

2 コンピューターのモニターポートにコンピューターケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要となる場合があります。
- 付属のコンピューターケーブル以外の長いケーブルを使用すると、映像が正常に映らないことがあります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子は DDC1/2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源コードを差し込んでからコンピューターを起動してください。

コンピューターの音声をプロジェクターから出力する



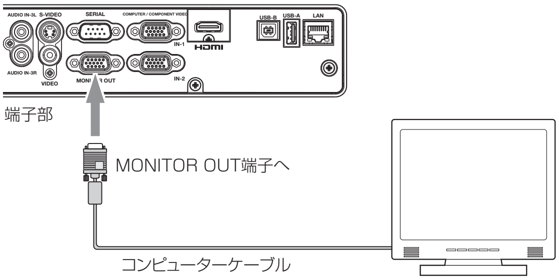
1 市販の PC 音声ケーブルを本機の AUDIO IN-1（または IN-2）端子に接続する

2 PC 音声ケーブルのもう一方をコンピューターの音声出力端子に接続する

お知らせ

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです（ただし、スピーカー出力はモノラルになります）。接続するコンピューターの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
  モノラル音声を入力した場合、スピーカーの音量レベルが約半分になります。
- 本機の音声入力は、コンピューターや DVD プレーヤーなどのライン出力に対応しています。マイクを接続する場合は、アンプ内蔵のものか、外付けのマイクアンプをご使用ください。

プロジェクターの投写映像をモニターで見る（デスクトップのみ）



1 モニターに接続されているコンピューターケーブルを本機の MONITOR OUT 端子に接続する

お知らせ

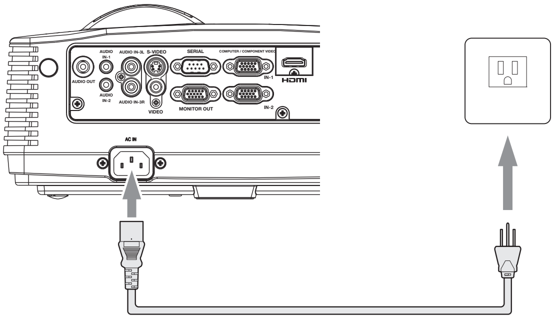
- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- 入力信号によっては、接続されているモニターに正常に映像が映らないことがあります。接続されているモニターの取扱説明書をご確認ください。
- COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子に入力している信号が出力されます。
- 設置メニューのスタンバイモードの設定を「モニター出力」にすると、スタンバイ中、MONITOR OUT 端子から信号が出力されます。

コンピューターの映像を見る（つづき）

B. 電源コードを差し込む

- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約 10 分後に電源を入れなおしてください。
- 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、工事を販売店にご依頼ください。

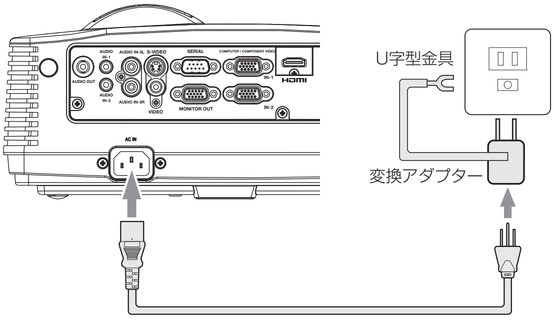
電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプターを取り付ける

3 変換アダプターの U 字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いたあとに行ってください。
- 変換アダプターのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

4 変換アダプターを電源コンセントに差し込む

- 本機の電源は、必ずアース付き交流 100V のコンセントを使用してください。

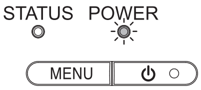
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピューターの電源を入れる

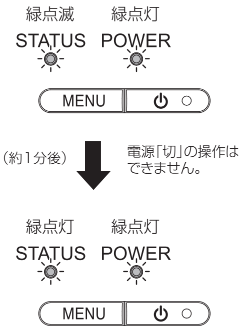
電源を入れる

1 POWER インジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWER インジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

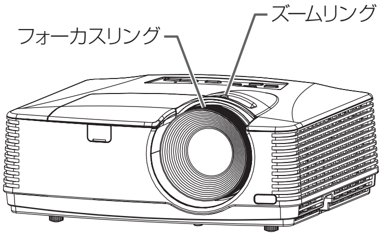
2 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押す



- ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは設置メニューでの設定にかかわらず「標準」となり、約 1 分後に設置メニューで設定しているモードに切り換わります。ランプ点灯後、約 1 分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約 10 分後に電源を入れなおしてください。

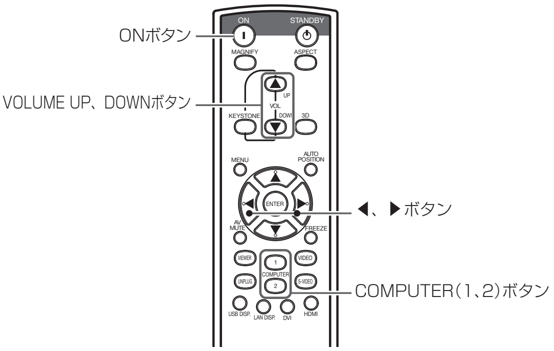
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンの COMPUTER（1 または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER ボタンを押す



- 本体の COMPUTER ボタンを押すごとに入力が「コンピュータ 1」→「コンピュータ 2」→「HDMI」→「LAN ディスプレイ」→「USB ディスプレイ」→「PC レスプレゼンテーション」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは 14 ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、右の表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。（14 ページ参照）

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

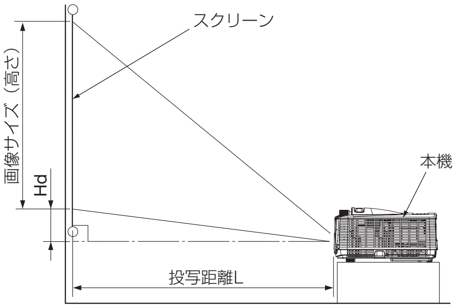
必要に応じて、操作 3 ～ 7 の設定は微調整してください。

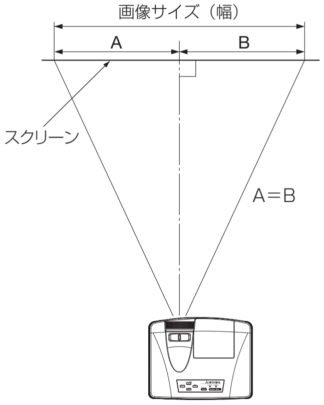
- 設置する場所については、あらかじめ 4 ～ 7 ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは 51 ページをご覧ください。

● 画面サイズと投写距離

画面サイズ			投写距離 L		高さ Hd
（形）	幅 W（cm）	高さ H（cm）	最短（m）	最長（m）	（cm）
40	81	61	1.1	1.9	9
60	122	91	1.7	2.8	14
80	163	122	2.3	3.8	18
100	203	152	2.9	4.7	23
120	244	183	3.4	5.6	27
150	305	229	4.3	7.1	34
200	406	305	5.8	9.4	46
250	508	381	7.2	—	57
300	610	457	8.7	—	69

- 表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。





スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。（13、20 ページ参照）

コンピューターの映像を見る（つづき）

音量を調整する

8 VOLUME（UP または DOWN）ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。
- オーディオメニューを使って音量を調整することもできます。（28 ページ参照）

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後 30 分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンを押す

- 「電源を切りますか？ ⏻ をもう一度押してください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10 秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンをもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUS インジケーターが点滅します。

11 STATUS インジケーターの緑点滅が消えるまで、約 90 秒間そのまま待つ

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWER インジケーターが消灯します。
- STATUS インジケーターの点滅中またはランプの点灯中に電源プラグを抜いた場合は、プロジェクターを冷却するため、10 分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、電源ボタン（⏻）を押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピューターと接続しているケーブルを外します。

お知らせ

- 設置メニューのスタンバイモードの設定を「LAN」、「スピーカー出力」、「モニター出力」にすると、電源プラグ差し込み後、スタンバイ状態で冷却ファンが（約 5 秒間高速回転したあと）極低速で回転します。また、ランプ消灯後も、スタンバイ状態で冷却ファンが極低速で回転します。これは、スタンバイ中も各種機能を動作させているプロジェクターを冷却するためであり、異常ではありません。（スタンバイモードの設定を「低」にすると、スタンバイ中、冷却ファンは停止します。）

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに電源コードを抜いて電源を切ることができます。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次のことに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUS インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorView などのアプリケーションソフトがはたらかなくなります。くわしくは、CD-ROM の中の「LAN 制御 UTILITY 操作説明書」をご覧ください。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピューターと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピューターによって異なりますので、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
「Fn」キー＋「F1」〜「F12」キーのいずれか（機種によって異なります）を押す。

AUTO POSITION ボタンによる調整

コンピューターの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1 できるだけ明るい画面（ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど）にする

2 スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する

3 AUTO POSITION ボタンを押す

入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

- 数回、AUTO POSITION ボタンを押してもまだずれる場合は、信号設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください（34 ページ参照）。

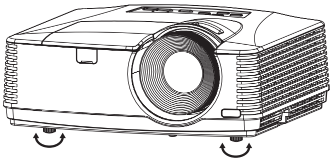
角度調整脚で投写角度を調整する

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

1 本体の前部を投写させたい角度まで持ち上げる

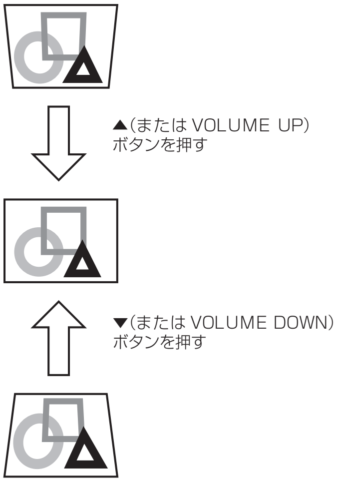
- 傾き角を前後方向に対して 15°以内に設置してください（角度調整脚のみによる角度調整角は、最大 6°になります）。

2 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように調整する



画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になってしまいます。
本機は、設置メニューの自動台形補正をオンにしておくと、垂直方向の台形ひずみを自動的に補正する機能を持っています。本機およびスクリーンを調整しても直角にならないときは、自動台形補正をオフにして手動で補正をしてください。本体またはリモコンのKEYSTONE ボタンを押して「台形補正」を表示し、▲、▼ボタン（またはリモコンのVOLUME UP、DOWN ボタン）を押して画像を調整します。



お知らせ

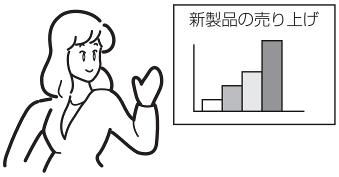
- 自動台形補正は、周囲温度やプロジェクターとスクリーンの設置条件により正しく補正できないことがあります。そのような場合は、手動で補正してください。
- プロジェクターが乗り物や航空機など移動しているものの中で画像を映しているときは、自動台形補正が正しく機能しないことがあります。このような場合は、設置メニューの自動台形補正をオフにして、手動で補正してください。
- 垂直方向の台形ひずみは自動補正できますが、補正範囲には限度があります。
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 台形補正の調整値の範囲は、設置状態や入力信号、アスペクト比の設定によって異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

プレゼンテーションを演出する

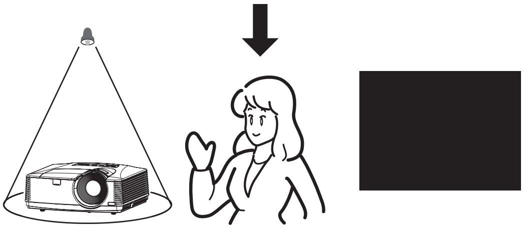
プレゼンテーションを行う上で便利な使い方を紹介します。

映像と音声を一時的に消す（AV ミュート）

スピーチやプレゼンテーション映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフのとおりです。」



「これが、その新製品です。」

操作のしかた

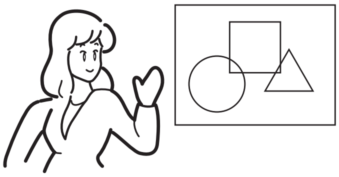
1 リモコンの AV MUTE ボタンを押す

- 映像が真っ暗になり、音声が消えます。
- もう一度 AV MUTE ボタンを押すと、通常画面に戻ります。

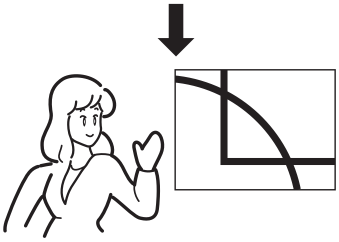
画面を拡大して見る（画面拡大機能）

画面の一部を拡大して見ることができます。

- 「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」入力の映像を表示しているときに画面を拡大することができます。



「この丸と四角の交点にご注目ください。」



「少しわかりにくいので拡大してみます。」

表示のしかた

1 リモコンの MAGNIFY ボタンを押す

- 画面拡大表示になります。
- もう一度 MAGNIFY ボタンを押すと、通常画面に戻ります。

拡大率を変更したいときは

1 リモコンの VOLUME（UP または DOWN）ボタンを押す

- UP ボタンを押すと拡大率が大きく、DOWN ボタンを押すと小さくなります。

拡大させる範囲を変更したいときは

1 ▲、▼、◀、▶ボタンを押す

お知らせ

- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 入力信号によっては、画面拡大機能がはたらかない場合があります。対応信号については 60 ページをご覧ください。

起動時および AV ミュート時などの画面を変更する

任意の画像を取り込んで起動画面（スプラッシュスクリーン）に設定することができます。また、取り込んだ画像は、メニュー設定により、AV ミュート時や無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

お知らせ

- 取り込むことができるのは、「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」入力のコンピューター画像です。

設定のしかた

- メニューの設定方法については、24 ページをご覧ください。

1 「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」、「HDMI」入力を選ぶ

2 取り込みたい画像を表示させる

3 オプションメニューを表示させる

4 ▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ

イメージキャプチャー	◀	OK↵	▶

5 ENTER ボタンを押す

- 取り込みが開始され、取り込んだ画像が表示されます。
- 一度 ENTER ボタンを押すと、取り込みが完了するまで他の操作はできなくなります。
- 取り込む画像が XGA より低い解像度の場合、XGA に拡大処理してから表示されます。
- 取り込む画像が XGA より高い解像度の場合、XGA の領域のみ取り込まれます。

お知らせ

- ENTER ボタンを押した時点で、それまでに取り込んだ画像を消去します。誤って ENTER ボタンを押してしまった場合は、再度同じ画像を取り込んでください。
- 取り込んだ画像は、オプションメニューのスプラッシュスクリーンの設定が「ユーザー」になっているときに、次の起動時より表示されます。表示されないときは、スプラッシュスクリーンの設定が「オフ」になっていないか確認してください。（30 ページ参照）
- 取り込んだ画像を AV ミュート時に表示させたいときは、オプションメニューの AV ミュートモードの設定を「ユーザーイメージ」に設定してください。（30 ページ参照）
- 取り込んだ画像を無信号時に表示させたいときは、オプションメニューのバックカラーの設定を「ユーザーイメージ」に設定してください。（30 ページ参照）
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。

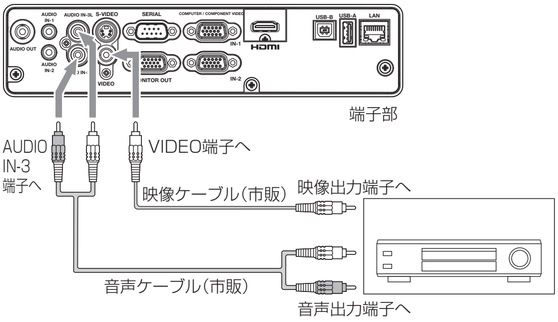
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

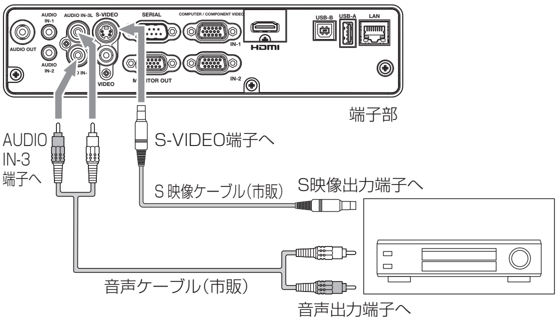
準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



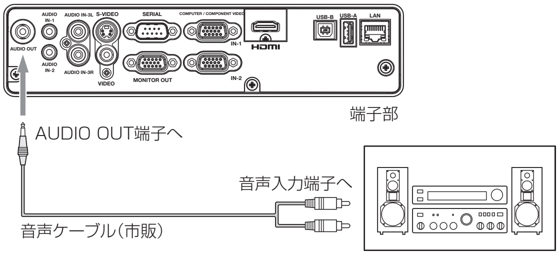
1. 市販の映像ケーブルを本機の VIDEO 端子に接続する
2. ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブルのもう一方を接続する
3. 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN-3 端子に接続する
4. ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

S 映像出力端子付きビデオ機器と接続する



1. 市販の S 映像ケーブルを本機の S-VIDEO 端子に接続する
2. ビデオ機器の S 映像出力端子に S 映像ケーブルのもう一方を接続する
3. 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN-3 端子に接続する
4. ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

プロジェクターに接続している機器の音声を外部スピーカーから出すときは



1. 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO OUT 端子に接続する
   - このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。
2. 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

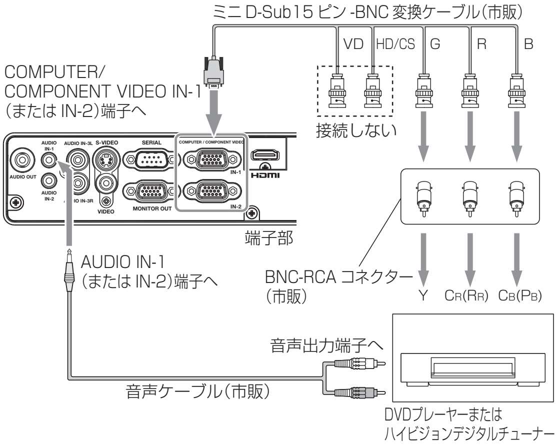
お知らせ

- AUDIO OUT 端子からの音声について
  - AV MUTE ボタンを押すと、音声が消えます。
  - VOLUME（UP または DOWN）ボタンを押すと、音量が変わります。

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または IN-2）端子に接続します。

- 接続はミニ D-Sub15 ピン -BNC 変換ケーブルをご使用ください。DVD プレーヤーとの接続には BNC-RCA コネクターが必要になります。



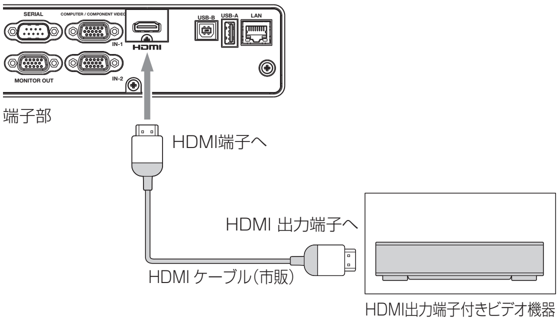
お知らせ

- DVD プレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B 出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのコンピュータ入力の設定を「RGB」にしてください。（27 ページ参照）

HDMI 出力端子付きビデオ機器と接続する

接続は、HDMI ロゴの付いている、カテゴリー 2 対応の市販の HDMI ケーブルをご使用ください。

- 音声入力用に別途ケーブルの接続は必要ありません。HDMI ケーブルの接続のみで映像、音声が入力されます。



1 市販の HDMI ケーブルを本機の HDMI 端子に接続する

2 ビデオ機器の HDMI 出力端子に HDMI ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- HDMI 音声が出力されないときは、本機とビデオ機器を接続している状態でビデオ機器の電源を一度切り、電源を入れ直すと出力されるようになります。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器（DVD プレーヤーなど）を HDMI 端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これはデジタル映像伝送の規格が 2 種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド→ノーマル
  詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、映像メニューの入力レベルの設定をご使用の機器に合わせて設定してください。

B. 電源コードを差し込む

「コンピューターの映像を見る」の場合と同じです。12 ページをご覧ください。

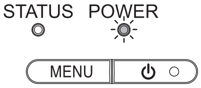
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

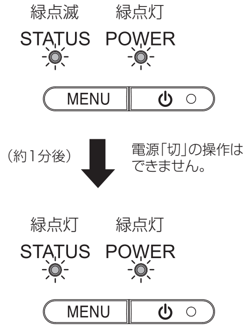
電源を入れる

1 POWER インジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWER インジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押す

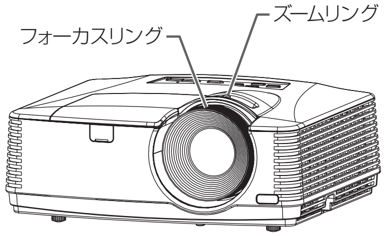


- ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは設置メニューでの設定にかかわらず「標準」となり、約 1 分後に設置メニューで設定しているモードに切り換わります。ランプ点灯後、約 1 分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約 10 分後に電源を入れなおしてください。

ビデオ機器の映像を見る（つづき）

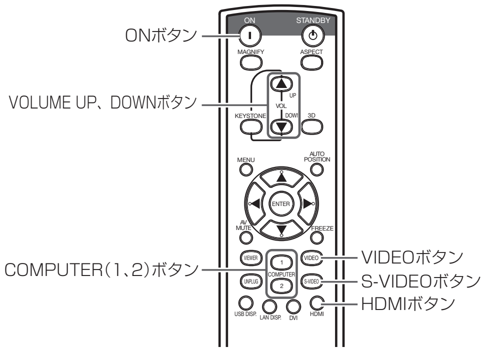
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンのVIDEO、S-VIDEOまたはHDMIボタン、または本体のVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに入力が「ビデオ」→「S-ビデオ」と切り換わります。
- COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1またはIN-2端子に接続しているDVDプレーヤーやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER（1または2）ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、13ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。（14ページ参照）

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

必要に応じて、操作 3 ～ 7 の設定は微調整してください。

音量を調整する

8 VOLUME（UPまたはDOWN）ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。
- オーディオメニューを使って音量を調整することもできます。（28ページ参照）

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

- 「電源を切りますか？ ⏻ をもう一度押してください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。
- STATUSインジケーターの点滅中またはランプの点灯中に電源プラグを抜いた場合は、プロジェクターを冷却するため、10分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、電源ボタン（⏻）を押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、ビデオ機器と接続しているケーブルを外します。

お知らせ

- 設置メニューのスタンバイモードの設定を「LAN」､「スピーカー出力」、「モニター出力」にすると、電源プラグ差し込み後、スタンバイ状態で冷却ファンが（約5秒間高速回転したあと）極低速で回転します。また、ランプ消灯後も、スタンバイ状態で冷却ファンが極低速で回転します。これは、スタンバイ中も各種機能を動作させているプロジェクターを冷却するためであり、異常ではありません。（スタンバイモードの設定を「低」にすると、スタンバイ中、冷却ファンは停止します。）

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに電源コードを抜いて電源を切ることができます。
ダイレクトパワーオフを行う場合は、次のことに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUS インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorView などのアプリケーションソフトがはたらかなくなります。くわしくは、CD-ROM の中の「LAN 制御 UTILITY 操作説明書」をご覧ください。

静止画について

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面に戻ります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中に FREEZE ボタン以外のボタンを押しても通常画面に戻ります。（一部、もどらないボタンもあります。）
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

アスペクト比の切り換えついて

本機は、入力した映像のアスペクト比（縦横比）を切り換えて投写することができます。必要に応じて、リモコンの ASPECT ボタンを押してアスペクト比の設定を切り換えてください。

- アスペクト比の設定は、ASPECT ボタンを押すごとに「ノーマル」→「16：9」→「フル」→「ノーマル」と切り換わります。
  - 「ノーマル」
    入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。通常はこれを選びます。
  - 「16：9」
    スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。
  - 「フル」
    入力信号の種類にかかわらず、投写映像がフルサイズ（1024 × 768 画素）で表示されます。
- アスペクト比の切り換えは、映像メニューの「画角」で行うこともできます。

画角	◀ ノーマル ▶

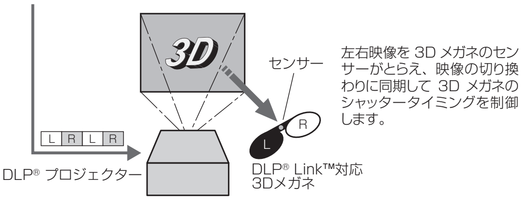
- 映像メニューの「画角」ではさらに、「16：9 ↵」の設定を選んで ENTER ボタンを押すと、画面内での映像の表示位置を「上」、「中央」、「下」から選ぶことができます。
- 長時間 16：9 表示で使用したあと 4：3 表示で使用すると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。

3D 映像を見る

本機では、3D 映像を投写して楽しむことができます。
3D 映像を楽しむには、以下のものが必要です。

- フィールドシーケンシャル方式（左眼用の映像と右眼用の映像を順次表示する方式）の 3D 動画
- DLP®Link™方式に対応した 3D メガネ

3D対応フォーマット			
ページフリッピング (フィールドシーケンシャル)	サイドバイサイド	トップアンドボトム	チェッカーボード方式
対応	非対応	非対応	非対応



3D 映像の見かた

1 **コンピューターまたは DVD プレーヤーで、フィールドシーケンシャル方式の 3D 動画を再生する**

2 **コンピューターまたは DVD プレーヤーを本機と接続する**

3 **映像メニューを表示させ、3D の設定を「オン」にする**
   - メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。
   - リモコンの 3D ボタンでも、3D の設定を「オン」にすることができます。

4 **3D メガネを装着する**

5 **3D 映像が正常に見えない場合は、映像メニューの 3D 同期信号反転の設定を「オン」にする**

お知らせ

- 「LAN ディスプレイ」、「USB ディスプレイ」、「PC レスプレゼンテーション」入力では、3D 映像は見られません。
- 推奨距離より近い距離で視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。
- 3D 映像を見るときは、スクリーンの正面からご覧ください。斜めから見ると、3D 映像が正しく見えないことがあります。
- 3D 映像の見えかたには、個人差があります。近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正した上で、3D メガネを使用して視聴してください。
- 3D 映像の視聴を始めてしばらくは、映像が少しずれて見えることがありますが、故障ではありません。
- 3D の設定を「オン」にしていると、投写映像が暗くなりますが、故障ではありません。
- 3D 映像視聴中は、画面拡大機能は使用できません。
- 周囲の環境（蛍光灯の照明など）によって、メガネの同期が外れ、3D 映像に見えない場合があります。
- コンピューターの性能（グラフィックボード、メモリー、CPU 等）によっては、3D 映像が映らない場合があります。
- 3D 映像を見ることができる信号は、60 ページの表の中に示されている信号です。他の信号が入力されているときは、映像メニューの 3D の設定を「オン」にしても 3D 映像を見ることはできません。
- DVD ソフトを 480p で再生した場合、DVD プレーヤーによっては正常に 3D 映像が映らない場合があります。
- 120Hz で 3D を映す場合、再生するプレーヤーのソフトウェアによっては 3D 映像が映らない場合があります。

⚠注意

視聴中の人体への影響に対する注意事項

- 3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じたら、視聴を中止してください。また、3D メガネを使用中にはっきりと二重に映像が見えたら、視聴を中止してください。
  そのまま視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。
- 次のようなときは 3D 映像を視聴しないでください。
  - 光過敏の既往症がある
  - 心臓に疾患がある
  - てんかんの既往症がある
  - 体調不良や疲れているとき
  - 酒気を帯びている
  - 睡眠不足
  - 妊婦
- 3D 映画などの場合には、1 作品を目安に適度な休憩をとってください。3D ゲームなどの 3D 映像の場合は、30 分～ 1 時間を目安に適度な休憩をとってください。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますのでご自身で判断してください。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴や 3D ゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。また、回復するまで (2 時間程度) は自動車などの運転をしないでください。回復するまでの時間は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。
- お子様の視聴年齢は 5 ～ 6 歳以上を目安としてください。お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩を取るように監督してください。
- 回転や揺れ、動きの速い映像を視聴中に不快感など異常を感じたときはスクリーンの外に目を逸らすなどして注視を止めてください。
- 3D 映像を視聴中に誤ってスクリーンや人を叩かないように注意してください。3D 映像を視聴するときは周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。スクリーンとの距離を誤って周囲のものを叩いたり、体を動かして周囲のものを壊すなど、けがや故障の原因になることがあります。
- 3D 映像を見るときは 3D メガネを使用し、両目を水平に近い状態でなるべく正面から視聴してください。体調不良や目の疲れの原因になることがあります。近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正したうえで 3D メガネを使用してください。
- 3D 映像を見るときは、画面の高さの約 3 倍以上スクリーンから離れた距離で視聴してください。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図

- 映像
  - 画像
    - 自動
    - シアター
    - プレゼンテーション
    - 標準
    - 黒板
    - ホワイトボード
    - ユーザー ↵
      - Brilliant Color™ — 0-10
      - ガンマモード — ダイナミック, ナチュラル, 詳細
  - ブライトネス — ±30
  - コントラスト — ±30
  - 色温度
    - 低
    - 中
    - 高
    - ユーザー ↵
      - コントラスト R — ±30
      - コントラスト G — ±30
      - コントラスト B — ±30
      - ブライトネス R — ±30
      - ブライトネス G — ±30
      - ブライトネス B — ±30
  - カラーマネージメント
    - 赤 ↵
    - 緑 ↵
    - 青 ↵
    - シアン ↵
    - イエロー ↵
    - マゼンタ ↵
      - ゲイン — ±30
      - 飽和度 — ±30
      - 色相 — ±30
  - 画角
    - ノーマル
    - 16:9 — 中央, 上, 下
    - フル
  - 入力レベル — 自動, ノーマル, エンハンスド
  - 3D — オフ, オン
  - 3D 同期信号反転 — オフ, オン
- ビデオ画像
  - 色の濃さ *1 — ±10
  - シャープネス *1 — ±5
  - 色調 *1 — ±10
- 信号設定
  - 水平位置 — 0-999 *4
  - 垂直位置 — 0-999 *4
  - ファイン *1*2 — 0-31
  - 分周比 *2 — 0-2800 *4
  - コンピュータ 入力 *2 — 自動, RGB, YCbCr/YPbPr
  - オーバースキャン — 90-100% *4
  - 上部曲がり補正 *2
    - オン ↵
      - 開始 — 0-99
      - 終了 — 0-99
    - オフ
  - ユーザー — OK ↵
    - クランプ位置 *2 — 1-255
    - クランプ幅 *2 — 1-63
    - LPF *1*2 — オン, オフ
    - シャッター(上側) — 0-20
    - シャッター(下側) — 0-20
    - シャッター(左側) — 0-20
    - シャッター(右側) — 0-20
- オーディオ
  - オーディオ入力
    - 自動
    - オーディオ 1 *6
    - オーディオ 2 *6
    - オーディオ 3 *6
    - ミックス ↵ *6 — ±10
  - 音量 — 0-21
- 設置
  - メニュー位置 — 左上, 右上, 中央, 左下, 右下
  - ランプモード — 標準, 低
  - スタンドバイモード — 低, LAN, スピーカー出力, モニター出力
  - 画像反転 — オフ, 左右, 左右+天吊り, 天吊り
  - オートパワーオン — オフ, オン
  - オートパワーオフ — オフ, 5分, 10分, 15分, 30分, 60分
  - 自動台形補正 — オフ, オン
  - 言語 — English, 日本語, Español, Français, Italiano, 简体中文, Deutsch, 한국어, Polski, Português, РУССКИЙ, Svenska, Indonesia, ไทย, Türkçe, Magyar, العربية, Bahasa Malaysia
  - リセットオール — OK ↵
- オプション
  - パスワード — OK ↵
    - パスワード — オフ, オン
    - パスワードの変更 — xxxx
  - シネマモード *3 — 自動, オフ
  - ビデオ信号 *5 — 自動, NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL-M, PAL-N, PAL-60
  - WXGA *2 — オフ, 自動, 1280x768, 1280x768RB, 1280x800, 1360x768, 1366x768
  - セットアップ *1 — 自動, オフ, 3.75%, 7.50%
  - イメージキャプチャー — OK ↵
  - スプラッシュスクリーン — オリジナル, ユーザー, オフ
  - バックカラー — 青, 黒, オリジナルイメージ, ユーザーイメージ
  - AVミュートモード — 黒, オリジナルイメージ, ユーザーイメージ
  - Closed Caption *1 — オフ, CC1, CC2, CC3, CC4, T1, T2
- ネットワーク設定
  - プロジェクタ名 — xxxxxxxx..., 編集 ↵
  - ネットワーク認証 — オン ↵, オフ ↵
  - ネットワークパスワード — OK ↵
  - IP 設定 — OK ↵
    - DHCP — オン, オフ
    - IP アドレス — 0-255
    - サブネットマスク — 0-255
    - デフォルトゲートウェイ — 0-255
    - MAC アドレス — xx-xx-xx-xx-xx-xx
    - DHCP 機能 — オフ, オン
    - IP アドレスの開始 — 0-255
    - IP アドレスの終了 — 0-255
    - IP 設定セットアップ — OK ↵
  - ワイヤレス設定 — OK ↵
    - SSID — xxxxxxxx..., 編集 ↵
    - チャンネル — 自動, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11
    - 暗号化方式 — 編集↵ , オフ, WEP 128bit(ASCII), WEP 64bit(ASCII), WEP 128bit(HEX), WEP 64bit(HEX), WPA-PSK(ASCII), WPA2-PSK(ASCII), WPA-PSK(HEX), WPA2-PSK(HEX)
    - ワイヤレスセットアップ — OK ↵
  - AMX デバイスディスカバリ — オフ ↵, オン↵
  - ネットワーク初期化 — OK ↵
  - ネットワーク再起動 — OK ↵
- 情報
  - ランプ時間
  - 入力
  - 解像度
  - 水平周波数
  - 垂直周波数
  - 同期信号 *2

*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: VIDEO、S-VIDEO 端子からの信号入力時は選択できません。
*3: TV60、TV50、480i、576i 信号入力時のみ選択できます。
*4: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
*5: VIDEO、S-VIDEO 端子からの信号入力時のみ選択できます。
*6: 入力を「HDMI」にした場合、オーディオ入力の「オーディオ1」、「オーディオ2」、「オーディオ3」および「ミックス ↵」は選択できません。

メニューを使って設定する（つづき）

メニューの設定のしかた

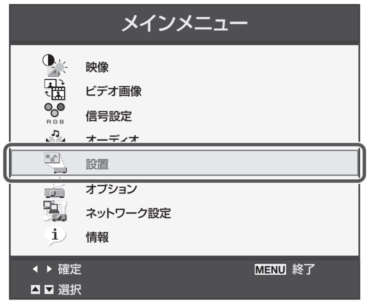
画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1 MENU ボタンを押す

- メインメニューが表示されます。

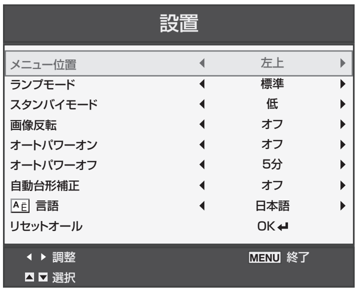
選択中の設定項目は、赤色の文字で青色の背景上に表示されています。

2 ▲、▼ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ



3 ENTER ボタン（または▶ボタン）を押す

- 希望のメニューが表示されます。



4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

5 ◀、▶ボタンを押して設定する

6 設定が終わったら、MENU ボタンを数回押してメニューを消す

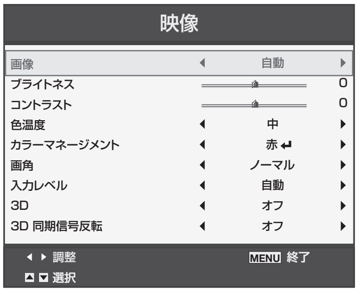
お知らせ

- 設定名の後に「↵」マークが付いている場合は、ENTER ボタンを押すと、設定した内容が実行されたり、新たな設定画面に移行したりします。
- ボタンを押してもメニューが切り換わらなくなることがあります。その場合は本機が誤動作している可能性があります。一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- メニューの文字がグレーで表示されている場合は、外部からの信号が入力されていないため、設定できない状態になっていることを示しています。
- メニュー画面、画面表示など、本書と製品で異なることがあります。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

■ 映像メニュー



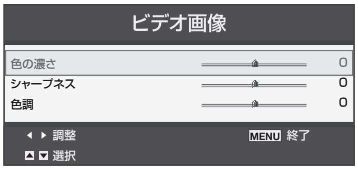
設定項目	設定	はたらき
画像	自動	入力信号に適した設定になります。通常はこれを選びます。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	黒板	黒板に投写した映像がより自然な色合いになります。
	ホワイトボード	ホワイトボードに投写した映像がより自然な色合いになります。
	ユーザー ↵	ガンマモード、BrilliantColor ™の設定ができます。（34 ページ参照）
ブライトネス	± 30	映像の明るさを調整します。（33 ページ参照）
コントラスト	± 30	映像のコントラストを調整します。（33 ページ参照）
色温度	低、中、高	あらかじめ設定された色温度の中から選択します。
	ユーザー ↵	独自の色温度に調整します。（33 ページ参照）
カラーマネージメント	赤 ↵、緑 ↵、青 ↵、シアン ↵、イエロー ↵、マゼンタ ↵	6 つの色について各々ゲイン、飽和度、色相を調整してお好みの色調に調整することができます。（33 ページ参照）
画角	ノーマル	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。通常はこれを選びます。
	16：9	スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。 ENTER ボタンを押すと、画面内での映像の表示位置を「中央」、「上」、「下」から選ぶことができます。
	フル	入力信号の種類にかかわらず、投写映像がフルサイズ（1024×768 画素）で表示されます。
入力レベル	自動、ノーマル、エンハンスド	【HDMI 信号入力時】 自動：　自動的に最適な設定が選ばれます。 ノーマル：　「自動」で黒浮きが発生するときに選びます。 エンハンスド：「自動」で黒つぶれが発生するときに選びます。 （19 ページ参照）
3D	オフ、オン	3D 表示を「入」「切」します。
3D 同期信号反転	オフ、オン	左眼用映像と右眼用映像の順序を切り換えます。

お知らせ

- 「画像」の設定切り換え時には、画像が乱れることがあります。

メニューを使って設定する（つづき）

■ ビデオ画像メニュー

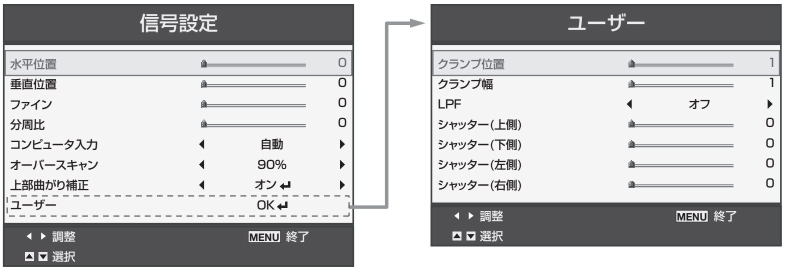


設定項目	設定	はたらき
色の濃さ	± 10	映像の色の濃さを調整します。
シャープネス	± 5	映像の鮮鋭度を調整します。
色調	± 10	映像の色合いを調整します。

お知らせ

- 「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」入力時は、色の濃さ、色調の調整はできません。
- TV50（PAL、SECAM）信号入力時は、色調の調整はできません。

■ 信号設定メニュー　※外部信号が入力されていないと調整できません。

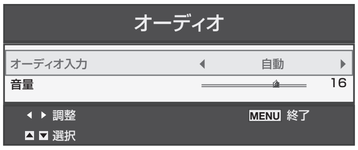


設定項目	設定	はたらき
水平位置	0 ～ 999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ～ 999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ～ 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 ～ 2800	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
コンピュータ入力	自動	自動的に最適な値に設定します。通常はこれを選びます。
	RGB	R、G、B 出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、これを選びます。
	YCbCr/YPbPr	Y、Cb、Cr コンポーネントビデオ出力端子を持つ DVD プレーヤーまたは Y、Pb、Pr コンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVD プレーヤーなどで 480p（525p）信号を入力するときは、これを選びます。
オーバースキャン	100% ～ 90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	オフ	上部曲がりに対する調整を行いません。
	オン ↵	画面に上部曲がりが起こったときに調整します。
ユーザー	OK ↵	以下の調整をするためのユーザーメニューを表示します。
クランプ位置	1 ～ 255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 ～ 63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
LPF	オン、オフ	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常は「オフ」を選択します。
シャッター（上側）	0 ～ 20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
シャッター（下側）	0 ～ 20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
シャッター（左側）	0 ～ 20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
シャッター（右側）	0 ～ 20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

LPF（プログレッシブフィルター）について

ご使用になる DVD プレーヤー、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を「オン」にすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

■ オーディオメニュー

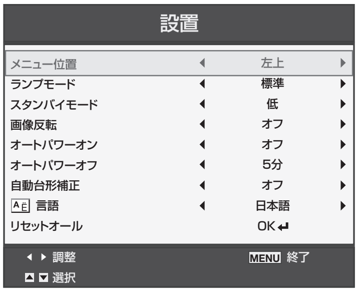


設定項目	設定	はたらき
オーディオ入力	自動	入力が「コンピュータ 1」のときは AUDIO IN-1 端子からの音声が､「コンピュータ 2」のときは AUDIO IN-2 端子からの音声が、「ビデオ」、「S- ビデオ」のときは AUDIO IN-3 端子からの音声が、「HDMI」のときは HDMI 端子からの音声が選ばれます。
	オーディオ 1、 オーディオ 2、 オーディオ 3	音声入力を選択します。
	ミックス ↵	AUDIO IN-1 端子からの音声と AUDIO IN-2 端子からの音声のミックス音声が選ばれます。 ENTER ボタンを押すと、AUDIO IN-1 端子からの音声と AUDIO IN-2 端子からの音声のバランスが変更できます。
音量	0 ～ 21	スピーカーの音量を調整します。

お知らせ

- 入力を「HDMI」にした場合は、HDMI 端子からの音声が選ばれます。「オーディオ 1」、「オーディオ 2」、「オーディオ 3」および「ミックス ↵」の音声は選択できません。

■ 設置メニュー



設定項目	設定	はたらき
メニュー位置	左上、右上、中央、左下、右下	メニューの表示位置を切り換えます。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
スタンバイモード	低	スタンバイ中に LAN 経由での本機の制御、本機のスピーカーからの音声出力、MONITOR OUT 端子からの映像出力を利用しないときに、この設定を選びます。これらの機能が停止し、スタンバイ時の消費電力が低減されます。
	LAN	スタンバイ中に LAN 経由で本機の制御を行う場合は、これを選びます。
	スピーカー出力	スタンバイ中にスピーカーから音声を出力したい場合は、これを選びます。
	モニター出力	スタンバイ中にスピーカーから音声に加えて MONITOR OUT 端子からの映像信号を出力したい場合は、これを選びます。
画像反転	オフ	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	左右＋天吊り	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	天吊り	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
オートパワーオン	オフ	通常はこれを選びます。
	オン	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	オフ	オートパワーオフは、はたらきません。
	5 分、10 分、15 分、30 分、60 分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
自動台形補正	オフ、オン	自動台形補正機能の「入」「切」を切り換えます。
言語	18 言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
リセットオール	OK ↲	ENTER ボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします（言語、パスワードの設定を除く）。

お知らせ

- ランプモードは、電源を入れたときは設置メニューでの設定にかかわらず「標準」となり、約 1 分後に設置メニューで設定しているモードに切り換わります。ランプ点灯後、約 1 分の間ランプモードの切り換えはできません。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- リセットオールには、少し時間がかかることがあります。
- スタンバイモードの設定を「スピーカー出力」または「モニター出力」にしているときは、オーディオメニューのオーディオ入力で設定している音声がスタンバイ中に出力されます。ただし、最後に選んだ入力が「HDMI」の場合、音声は出力されません。
- スタンバイ中は、音声入力の切り換えや内部スピーカーの音量の変更はできません。
- スタンバイモードの設定を「LAN」、「スピーカー出力」、「モニター出力」にすると、電源プラグ差し込み後、スタンバイ状態で冷却ファンが（約 5 秒間高速回転したあと）極低速で回転します。また、ランプ消灯後も、スタンバイ状態で冷却ファンが極低速で回転します。これは、スタンバイ中も各種機能を動作させているプロジェクターを冷却するためであり、異常ではありません。スタンバイモードの設定を「低」にすると、スタンバイ中、冷却ファンは停止します。

メニューを使って設定する（つづき）

■ オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
パスワード	OK ↵	パスワードの設定､パスワードロックの「入」「切」に使います。（48 ページ参照）
シネマモード	自動	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	オフ	フィルムモード処理は行いません。
ビデオ信号	自動、NTSC、PAL 他	ビデオ信号のカラー方式を選択します。通常は「自動」に設定します。
WXGA	オフ、自動、1280x768、1280x768RB、1280x800、1360x768、1366x768	WXGA の信号を入力したときに「自動」で正しく表示されないときは、適切なフォーマットを選びます。入力信号が WXGA 信号以外のときは「オフ」を選びます。
セットアップ	自動	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	オフ	国内盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
	3.75%、7.50%	米国盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
イメージキャプチャー	OK ↵	スプラッシュスクリーン（起動画面）やバックカラー（無信号時に表示される画面）、AV ミュート時に表示される画面を任意の画像に変更したいときに使います。（17 ページ参照）
スプラッシュスクリーン	オリジナル	電源を入れたとき、工場出荷時のスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
	ユーザー	電源を入れたとき、イメージキャプチャー機能で取り込んだ画像をスプラッシュスクリーン（起動画面）として表示します。
	オフ	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示しません。
バックカラー	青、黒	無信号時、選択した色の画面を表示します。
	オリジナルイメージ	無信号時、工場出荷時のスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
	ユーザーイメージ	無信号時、イメージキャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
AV ミュートモード	黒	AV MUTE ボタンを押したとき、黒い画面を表示します。
	オリジナルイメージ	AV MUTE ボタンを押したとき、工場出荷時のスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
	ユーザーイメージ	AV MUTE ボタンを押したとき、イメージキャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
Closed Caption	オフ	キャプション（字幕情報）を表示しないときに選択します。
	CC1、CC2、CC3、CC4、T1、T2	キャプション（字幕情報）を表示するときに選択します。

お知らせ

- シネマモードは、入力信号が TV60、TV50、480i、576i 映像信号の場合のみ選択できます。
- ビデオ信号の設定を｢自動｣にしているとき､正常に色がつかないことがあります。その場合は､入力信号に合わせた方式に設定してください。
- キャプションは、画面にメニューや音量設定、入力切り換えの情報が表示されている間は表示されません。
- Closed Caption は、主に北米の TV 放送に使用されている NTSC 信号に多重された文字情報を表示する機能です。

■ ネットワーク設定メニュー

設定項目	設定	はたらき
プロジェクタ名	xxxxxxxx...	プロジェクター名が表示されます。プロジェクター名を設定していない場合は空欄が表示されます。
	編集 ↵	プロジェクター名を設定します。英数字または記号で 15 文字以内で設定します。(35 ページ参照)
ネットワーク認証	オン ↵、オフ ↵	ネットワーク認証を行うかどうかを選択します。通常は「オン」を選びます。(35 ページ参照)
ネットワークパスワード	OK ↵	PJLink® 認証用のパスワードを設定します。
IP 設定	OK ↵	IP 設定を行うためのメニューを表示します。(36 ページ参照)
DHCP 設定	オン ↵、オフ ↵	DHCP サーバーによる自動 IP 取得を行うかどうかを選択します。
IP アドレス	xxx-xxx-xxx-xxx	IP アドレスが表示されます。
サブネットマスク	xxx-xxx-xxx-xxx	サブネットマスクが表示されます。
デフォルトゲートウェイ	xxx-xxx-xxx-xxx	デフォルトゲートウェイが表示されます。
MAC アドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx	MAC アドレスが表示されます。
DHCP 機能	オン、オフ	プロジェクターが DHCP サーバーとして機能しているときにこの設定を使います。
IP アドレスの開始	xxx-xxx-xxx-xxx	開始 IP アドレスが表示されます。ただし、開始 IP アドレスは、工場出荷時は設定されておらず、表示させることはできません。
IP アドレスの終了	xxx-xxx-xxx-xxx	終了 IP アドレスが表示されます。ただし、終了 IP アドレスは、工場出荷時は設定されておらず、表示させることはできません。
IP 設定セットアップ	OK ↵	IP 設定を完了させます。
ワイヤレス設定	OK ↵	無線 LAN で通信するための設定を表示します。
SSID	xxxxxxxx...	SSID が表示されます。
	編集 ↵	SSID を設定します。英数字 32 文字以内で設定します。
チャンネル	自動、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11	無線 LAN のチャンネルを選択します。
暗号化方式	編集 ↵、オフ、WEP 128bit(ASCII)、WEP 64bit(ASCII)、WEP 128bit(HEX)、WEP 64bit(HEX)、WPA-PSK(ASCII)、WPA2-PSK(ASCII)、WPA-PSK(HEX)、WPA2-PSK(HEX)	無線 LAN の暗号化方式を選びます。
ワイヤレスセットアップ	OK ↵	無線 LAN で通信するための設定を完了させます。
AMX デバイスディスカバリ	オフ ↵、オン ↵	AMX 社製のコントローラーを使用するときに使います。
ネットワーク初期化	OK ↵	ネットワーク設定を初期化します。
ネットワーク再起動	OK ↵	ネットワーク機能を再起動します。

■ 情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。
入力	現在選択中の入力名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。

映像を調整する

映像の明るさを調整する（ブライトネス、コントラスト）

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 映像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ブライトネス」または「コントラスト」を選ぶ

ブライトネス	0
コントラスト	0

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

ブライトネス ... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなります。

コントラスト ... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなり、メリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなり、しっとりとします。

独自の白の色合いを設定する（色温度のユーザー設定）

メニューを使って独自の色温度（白の色合い）を設定します。
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 映像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「ユーザー ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
- 色温度ユーザーメニューが表示されます。

色温度ユーザー	
コントラスト R	0
コントラスト G	0
コントラスト B	0
ブライトネス R	0
ブライトネス G	0
ブライトネス B	0
◀ ▶ 調整	MENU 終了
▲▼ 選択	

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5 、6 を繰り返して設定する

8 MENU ボタンを 3 回押す

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト B（青）とコントラスト R（赤）の数値を変化させることにより、設定します。
- 色温度を高くするには
  コントラスト B（青）の数値を大きく、コントラスト R（赤）の数値を小さく設定します。
- 色温度を低くするには
  コントラスト B（青）の数値を小さく、コントラスト R（赤）の数値を大きく設定します。

色を調整する（色の濃さ、色調）

メニューを使って映像の色に関する調整をします。
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ビデオ画像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色の濃さ」または「色調」を選ぶ

色の濃さ	0
シャープネス	0
色調	0

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ .... ▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

色調......................... ▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

お知らせ
- 「色の濃さ」、「色調」は、「ビデオ」入力時のみ表示されます。
- 「色調」は、NTSC、4.43NTSC 時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ビデオ画像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

シャープネス	0

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

お知らせ
- 「シャープネス」は、「ビデオ」入力時のみ表示されます。

カラーマネージメント

赤、緑、青、シアン、イエロー、マゼンタの各色の色調を個別に調整することができます。
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 映像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーマネージメント」を選ぶ

カラーマネージメント	◀ ユーザー ↵ ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する色を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
- 選んだ色のカラーマネージメントメニューが表示されます。

カラーマネージメント - 赤	
ゲイン	0
飽和度	0
色相	0
◀ ▶ 調整	MENU 終了
▲▼ 選択	

5 ▲、▼ボタンを押して調整したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して調整する

映像を調整する（つづき）

独自の明るさと色合いを設定する（画像のユーザー設定）

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。
● メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 映像メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「画像」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「ユーザー ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● ユーザーイメージメニューが表示されます。

5 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

ガンマモード

最適なガンマとランプの電力変調の設定をします。明るさが不足がちな色を明るく強調できます。

● ダイナミック ...... 明るい環境でメリハリのきいた映像を映したいときに選びます。明るい色がより明るく強調されます。
● ナチュラル .... 必要以上のメリハリより色再現性を重視したいときに選びます。必要十分な明るさと鮮やかな色が再現されます。
● 詳細...................... 映画、音楽ライブを見るときなど、比較的輝度を抑えたいときに選びます。

BrilliantColor™

黄色や肌色など、中間色の色を自然な明るさに設定します。▶ボタンを押すごとに明るさが増し、◀ボタンを押すごとに暗くなります。（「0」に設定した場合、効果はありません。）

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

● BrilliantColor ™を「0」に設定すると、白の色調整ができなくなりますが、色をより忠実に再現することができます。

お知らせ

●「ガンマモード」の切り換え時に、画像が乱れることがあります。

コンピューター映像の調整

本機は、コンピューターからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピューターの種類によっては正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITION ボタンを押してください（14 ページ参照）。それでも正しく投写されないときは、信号設定メニューを使って投写されるコンピューター映像を調整します。設定した内容は自動的に記録されます。

メニュー画面を使ったコンピューター映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

● **投写画面が左右にずれる**
信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が左にずれます。

● **投写画面が上下にずれる**
信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が上にずれます。

● **投写画面がちらつく、ぼやける**
信号設定メニューのファインを調整します。

● **幅広のしま模様が出る**
信号設定メニューの分周比を調整します。

● **画面が白く（または黒く）つぶれる**
信号設定メニューの中のユーザーメニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整します。

● **画面の左右にノイズなどが出る**
信号設定メニューの中のユーザーメニューのシャッター（左側）またはシャッター（右側）を調整します。

● **画面の上下にノイズなどが出る**
信号設定メニューの中のユーザーメニューのシャッター（上側）またはシャッター（下側）を調整します。

● **画面に上部曲がりが起こる**
信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「オン ↵」にして ENTER ボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。

簡単な画面位置調整のしかた（AUTO POSITION ボタンで調整できない場合）

水平位置の調整

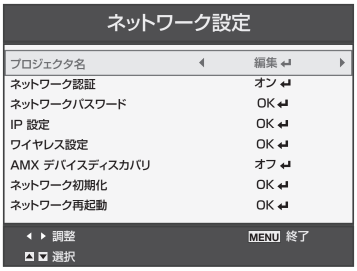
1「水平位置」を調整して映像の左端を合わせ、「分周比」を調整して右端を合わせる
2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う

垂直位置の調整

3「垂直位置」を調整して映像の上端を合わせる

ネットワークを設定する

メニューを使ってプロジェクターのネットワーク設定を行います。



プロジェクター名を設定する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

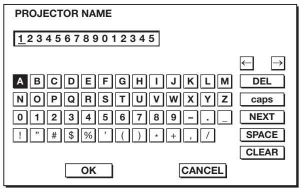
1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「プロジェクタ名」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「編集 ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

- プロジェクター名入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

- プロジェクター名はアルファベット（大・小）、数字、記号で最大 15 文字まで設定できます。
  ←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  →キー.........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
  NEXT/PREV キー ...キーパッド 4 行目の記号を切り換える
  SPACE キー ....入力カーソル位置に空白を挿入する
  CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

6 入力した名前を保存して終了するときは「OK」を、保存せずに終了するときは「CANCEL」を選ぶ

- 「OK」または「CANCEL」を選ぶとネットワーク設定メニューへ戻ります。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク認証の設定・解除をする

ネットワーク通信で、ネットワークパスワードを使用した認証を行うかどうかを設定します。

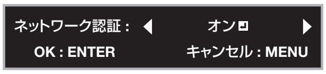
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワーク認証」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- ネットワーク認証 のダイアログが表示されます。



4 ◀、▶ボタンを押して「オン ↵」または「オフ ↵」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

- 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークパスワードを設定する

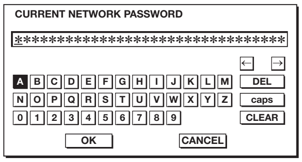
- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークパスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 現パスワード入力画面が表示されます。



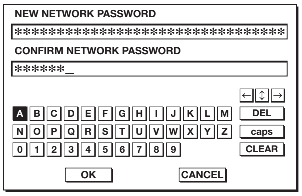
4 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

- パスワードはアルファベット（大・小）、数字で最大 32 文字まで設定できます。
  ←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  →キー......................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
  CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する
- 工場出荷時のパスワードは「admin」になっています。

ネットワークを設定する（つづき）

5 「OK」を選ぶと、入力したパスワードが正しければ新パスワード入力画面が表示されます

- パスワードを間違えた場合、エラーダイアログが表示され、再度現パスワード入力画面が表示されます。



6 新パスワードと確認用パスワードを入力する

- パスワードはアルファベット（大・小）、数字で最大 32 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
↕キー......................入力カーソル位置が新パスワード入力欄と確認用パスワード入力欄の間で移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

7 新パスワードと確認用パスワードが一致したらネットワークパスワードの変更が終了します

- 入力内容が一致していない場合、エラーダイアログが表示され、再度新パスワード入力画面が表示されます。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

IP を設定する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP 設定」を選ぶ

IP 設定　OK ↵

3 ENTER ボタンを押す

- IP 設定メニューが表示されます。

DHCP の設定・解除をする

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「DHCP」を選ぶ

DHCP　◀ オン ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「オン」または「オフ」を選ぶ

- 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してメニューを消してください。
- DHCP の設定を「オン」にした場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCP 機能の設定はできません。設定する場合は DHCP の設定を「オフ」にし、以下の手順で IP 設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP アドレス」を選ぶ

IP アドレス　169 . 254 . 0 . 220

3 ENTER ボタンを押す

- 第 1 オクテットが選択されます。

IP アドレス　169 . 254 . 0 . 220

4 ▲、▼ボタンを押して数値を設定する

5 ◀、▶ボタンを押してオクテットを選ぶ

- 第 2 または第 4 オクテットが選択されます。

IP アドレス　169 . 254 . 0 . 220

6 ENTER ボタンを押す

- 設定を取り消す場合は、MENU ボタンを押します。
- 数値は 0 ～ 255 の範囲で設定してください。ただし、第 4 オクテットは 1 ～ 254 の範囲内で設定してください。

サブネットマスクを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「サブネットマスク」を選ぶ

サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0

3 ENTER ボタンを押す

- 第 1 オクテットが選択されます。

サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0

4 ▲、▼ボタンを押して数値を設定する

5 ◀、▶ボタンを押してオクテットを選ぶ

- 第 2 または第 4 オクテットが選択されます。

サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0

6 ENTER ボタンを押す

- 設定を取り消す場合は、MENU ボタンを押します。
- 数値は 0 ～ 255 の範囲で設定してください。ただし、第 4 オクテットは 0 ～ 254 の範囲内で設定してください。

デフォルトゲートウェイを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「デフォルトゲートウェイ」を選ぶ

デフォルトゲートウェイ	169 . 254 . 0 . 1

3 ENTER ボタンを押す

- 第 1 オクテットが選択されます。

デフォルトゲートウェイ	169 . 254 . 0 . 1

4 ▲、▼ボタンを押して数値を設定する

5 ◀、▶ボタンを押してオクテットを選ぶ

- 第 2 または第 4 オクテットが選択されます。

デフォルトゲートウェイ	169 . 254 . 0 . 1

6 ENTER ボタンを押す

- 設定を取り消す場合は、MENU ボタンを押します。
- 数値は 0 ～ 255 の範囲で設定してください。ただし、第 4 オクテットは 1 ～ 254 の範囲内で設定してください。

DHCP 機能の設定・解除をする

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「DHCP 機能」を選ぶ

DHCP 機能	◀ オン ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「オン」または「オフ」を選ぶ

- 設定を取り消す場合は、MENU ボタンを押します。
- DHCP 機能の設定を「オフ」にした場合、開始 IP アドレス、終了 IP アドレスの設定はできません。設定する場合は DHCP 機能の設定を「オン」にし、以下の手順で IP 設定を行ってください。

開始 IP アドレスを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP アドレスの開始」を選ぶ

IP アドレスの開始	169 . 254 . 0 . 221

3 ENTER ボタンを押す

- 第 1 オクテットが選択されます。

IP アドレスの開始	169 . 254 . 0 . 221

4 ▲、▼ボタンを押して数値を設定する

5 ◀、▶ボタンを押してオクテットを選ぶ

- 第 2 または第 4 オクテットが選択されます。

IP アドレスの開始	169 . 254 . 0 . 221

6 ENTER ボタンを押す

- 数値は 0 ～ 255 の範囲で設定してください。ただし、第 4 オクテットは 2 ～ 254 の範囲内で設定してください。さらに、同じサブネットクラス内で IP アドレスより大きな数値に設定してください。

終了 IP アドレスを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP アドレスの終了」を選ぶ

IPアドレスの終了	169 . 254 . 0 . 224

3 ENTER ボタンを押す

- 第 1 オクテットが選択されます。

IPアドレスの終了	169 . 254 . 0 . 224

4 ▲、▼ボタンを押して数値を設定する

5 ◀、▶ボタンを押してオクテットを選ぶ

- 第 2 または第 4 オクテットが選択されます。

IPアドレスの終了	169 . 254 . 0 . 224

6 ENTER ボタンを押す

- 数値は 0 ～ 255 の範囲で設定してください。ただし、第 4 オクテットは 3 ～ 254 の範囲内で設定してください。さらに、同じサブネットクラス内で開始 IP アドレスより大きな数値に設定してください。

IP の設定を完了する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP 設定セットアップ」を選ぶ

IP 設定セットアップ	OK ↵

3 ENTER ボタンを押す

- 確認ダイアログが表示されます。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、IP 設定が反映されます

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークを設定する（つづき）

無線 LAN の設定をする

● メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ワイヤレス設定」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● ワイヤレス設定メニューが表示されます。

SSID を設定する

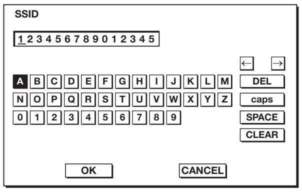
1 ワイヤレス設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「SSID」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「編集 ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● SSID 入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字を選び、ENTER ボタンを押す

● SSID はアルファベット（大・小）、数字で最大 32 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー......................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー .アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

6 SSID を保存して終了するときは「OK」を、保存せずに終了するときは「CANCEL」を選ぶ

●「OK」または「CANCEL」を選ぶとワイヤレス設定メニューへ戻ります。

チャンネルを設定する

1 ワイヤレス設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「チャンネル」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「自動」または「1」～「11」を選ぶ

● 設定を取り消すには MENU ボタンを押します。

暗号化方式 を設定する

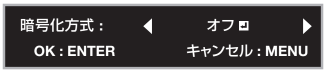
1 ワイヤレス設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「暗号化方式 」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「編集 ↵」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

● 暗号化方式ダイアログが表示されます。

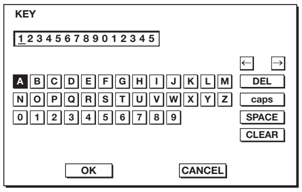


5 ◀、▶ボタンを押して「オフ ↵」または別の暗号化方式を選ぶ

6 設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す

● キー入力画面が表示されます。

● 設定を取り消すには MENU ボタンを押します。



7 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字を選び、ENTER ボタンを押す

● キーはアルファベット（大・小）、数字で最大 64 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー......................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー .アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

8 キーを保存して終了するときは「OK」を、保存せずに終了するときは「CANCEL」を選ぶ

- 「OK」または「CANCEL」を選ぶとワイヤレス設定メニューへ戻ります。
- キーの文字数（桁数）は、暗号化方式の設定により異なります。
  - WEP 128bit(ASCII)：13 文字
  - WEP 64bit(ASCII)： 5 文字
  - WEP 128bit(HEX)： 26 桁
  - WEP 64bit(HEX)： 10 桁
  - WPA-PSK(ASCII)： 8 ～ 63 文字
  - WPA2-PSK(ASCII)： 8 ～ 63 文字
  - WPA-PSK(HEX)： 64 桁
  - WPA2-PSK(HEX)： 64 桁
- 入力文字数が設定範囲を超えた場合は、エラーダイアログが表示されたあと、キー入力画面が再度表示されます。

無線 LAN の設定を完了する

1 ワイヤレス設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ワイヤレスセットアップ」を選ぶ

ワイヤレスセットアップ	OK ↵

3 ENTER ボタンを押す

- 確認ダイアログが表示されます。

4 ENTER ボタンをもう一度押すと、無線 LAN の設定が反映されます

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

AMX 社製コントローラー検知の設定を「入」「切」する

AMX 社製コントローラーを使用するときは、この設定を行います。

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「AMX ディスカバリ」を選ぶ

AMX デバイスディスカバリ	オフ ↵

3 ENTER ボタンを押す

- AMX ダイアログが表示されます。

AMX :	◀ オフ ▶
OK : ENTER	キャンセル : MENU

4 ◀、▶ボタンを押して「オン ↵」または「オフ ↵」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

- 設定を取り消すには MENU ボタンを押します。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク設定を初期化する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワーク初期化」を選ぶ

ネットワーク初期化	OK ↵

3 ENTER ボタンを押す

- ネットワーク初期化のダイアログが表示されます。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、ネットワーク設定が初期化されます

- 設定が初期化されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を再起動する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 ネットワーク設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワーク再起動」を選ぶ

ネットワーク再起動	OK ↵

3 ENTER ボタンを押す

- ネットワーク再起動のダイアログが表示されます。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、ネットワーク機能が再起動します

- 再起動するまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を使うには

- コンピューターとプロジェクターを LAN 接続する際は、両方の IP アドレスを同じネットワークグループになるように設定してください。
  異なるネットワークグループで接続する場合ルーターをご使用ください。ルーターの設定についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- IP 設定は正しく行ってください。正しく設定していないと、通信ができない場合があります。くわしくは、ネットワーク管理者へご相談ください。
- プロジェクターのスタンバイモードの設定によっては、LAN 機能が利用できないことがあります。スタンバイモードについては、29 ページを参照してください。

用語説明

詳細については市販の書籍などをご覧ください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
サブネットマスク	IP アドレスから､分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字のことです。
デフォルト・ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を越えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
MAC アドレス	Media Access Control アドレスの略です。MAC アドレスはネットワークアダプターごとの固有の ID 番号です｡すべてのネットワークアダプターは 1 つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプター間の送受信が行われます。

便利な表示機能

USB ディスプレイ機能

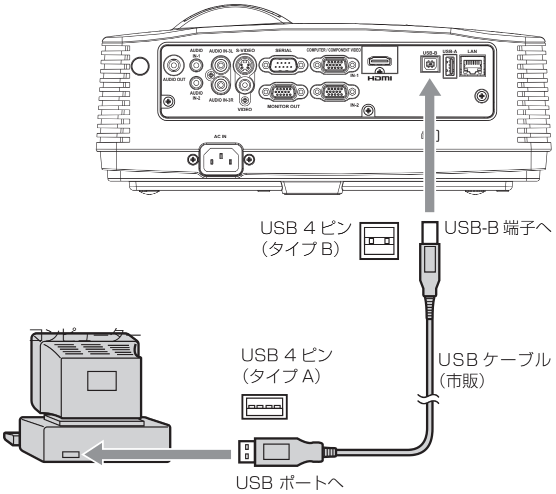
USB 接続でコンピューターと接続し、コンピューターの映像を投写することができます。
コンピューターにドライバーをインストールする必要はありません。

お知らせ

- 対応 OS は、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 です。
- 1 画面表示にのみ対応しています。
- 動画は表示できません。

接続する

プロジェクターとコンピューターを市販の USB ケーブルで接続します。

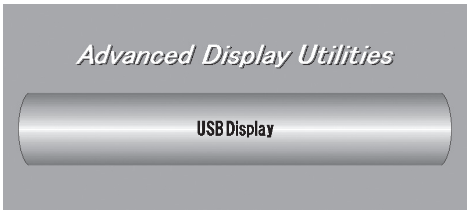


お知らせ

- 本機の USB-B 端子は USB 2.0 に対応しています。
- プロジェクターとコンピューターは、ハブを経由せずに直接接続してください。

投写する

1. リモコンの USB DISP. ボタンまたは本体の COMPUTER ボタンを押して「USB ディスプレイ」入力を選ぶ
   - COMPUTER ボタンを押すたびに、入力が「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」、「LAN ディスプレイ」、「USB ディスプレイ」、「PC レスプレゼンテーション」と切り換わります。
   - 「USB ディスプレイ」が選択されると、USB ディスプレイの起動画面が表示されます。



2. コンピューターがプロジェクターに接続されると、コンピューターの映像が自動的に投写されます
3. USB ディスプレイを終了するときは、USB ケーブルをプロジェクターから抜く
   - コンピューターで「外部デバイスの取り外し」を行ったり、リモコンの UNPLUG ボタンを押したりする必要はありません。

お知らせ

- コンピューターの解像度は、映像が投写されると自動的にプロジェクターの解像度に合わせて WXGA または XGA に切り換わります。また、USB ケーブルを取り外すと自動的に元の解像度に戻ります。

LAN ディスプレイ機能

有線または無線 LAN 経由でコンピューターの映像を入力し、投写することができます。
また、以下のことが行えます。

- 4 分割表示
  最大 4 台のコンピューターの映像を 1 画面に分割して表示できます。
- リモートデスクトップ
  マウスやキーボードなどの入力装置をプロジェクターの USB-A 端子に接続し、プロジェクターから以下のコンピューター操作が行えます。
  - コンピューターのローカルファイルの表示
  - アプリケーション・ソフトウェアの操作
  - ネットワーク上のサーバーファイルの表示
  - インターネットの閲覧

LAN ディスプレイ機能を使うには、CD-ROM に同梱のソフトウェア「LAN Display System」をインストールする必要があります。

お知らせ

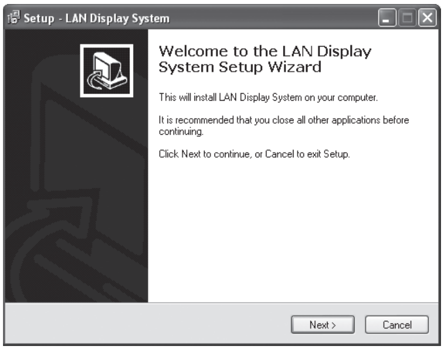
- 対応 OS は、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 です。
- 4 分割表示中、無線 LAN 通信中は、リモートデスクトップ機能は利用できません。
- 動画は表示できません。

ソフトウェアをインストールする

LAN Display System をインストールする

インストールする前に、必ず付属 CD-ROM 内の「ReadMe(Jp).txt」をお読みください。
CD-ROM の TOOLS フォルダー内にある「LAN Display System.exe」をコンピューターのハードディスクにコピーしてください。

1. **「LAN Display System.exe」をダブルクリックし、LAN Display System のインストーラーを起動する**
2. **Setup ウィンドウが表示されるので、[Next] をクリックする**
   - インストールが開始されます。



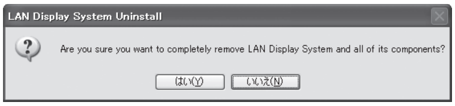
3. **インストールが完了すると、自動的に LAN Display System が起動します**

LAN Display System を削除する場合は（アンインストール）

お知らせ

- LAN Display System をアンインストールする場合は、事前に LAN Display System を終了しておいてください。起動したままでは正常にアンインストールできません。

1. **[スタート]-[すべてのプログラム]-[LAN Display System]-[Uninstall] を選択する**
2. **LAN Display System Uninstall ウィンドウが表示されるので、［はい］をクリックする**
   - アンインストールが開始されます。

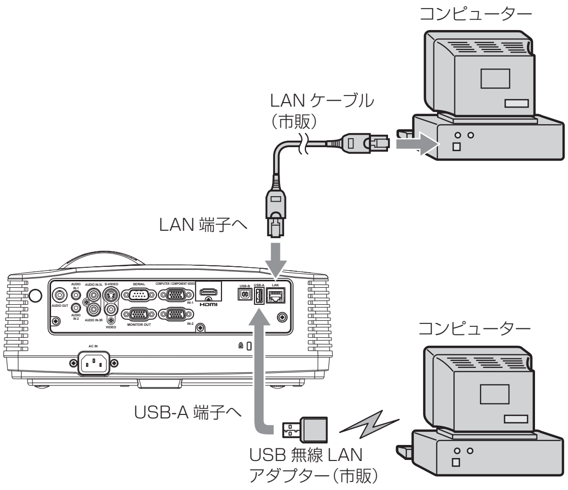


3. **アンインストールが完了したら、［OK］をクリックする**

   - ログや設定ファイルは自動的に削除されます。

接続する

プロジェクターとコンピューターを市販の LAN ケーブルまたは USB 無線 LAN アダプターで接続します。



お知らせ

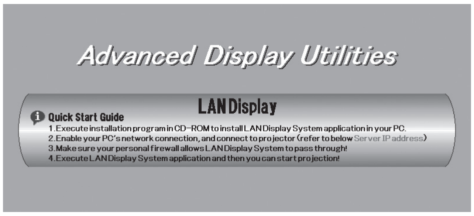
- 有線 LAN 接続には、カテゴリー 5 対応の LAN ケーブルを使用してください。ストレート結線ケーブル、クロス結線ケーブルともに使用可能です。
- 本機の USB-A 端子は USB 2.0 に対応しています。
- 接続には USB ハブを使用しないでください。
- USB 無線 LAN アダプターの仕様によっては、使用できないものがあります。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値は、有線 LAN、無線 LAN で共通です。
- 有線 LAN、無線 LAN インターフェイス間で、データはフィルターされません。

投写する

「LAN ディスプレイ」入力を選ぶ

1 リモコンのLAN DISP. ボタンまたは本体のCOMPUTER ボタンを押す

- COMPUTER ボタンを押すたびに、入力が「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」、「LAN ディスプレイ」、「USB ディスプレイ」、「PC レスプレゼンテーション」と切り換わります。
- 「LAN ディスプレイ」が選択されると、LAN ディスプレイの起動画面が表示されます。

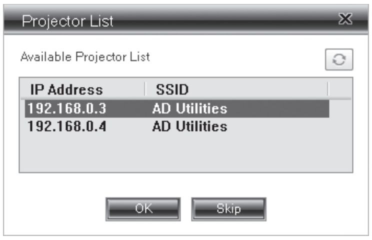


LAN Display System を起動する

2 LAN Display System アイコン「」をクリックしてプログラムを起動する

- プログラムが自動的にプロジェクターの検索を開始します。
- 検索中は、Searching アイコンが表示されます。

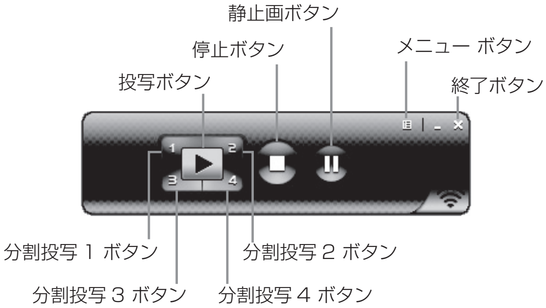
- プロジェクターを検知すると、コンピューターはプロジェクターに自動的にログインし、コンピューターの映像がプロジェクターで投写されます。コンピューター画面にはメインユーザーインターフェイスが表示されます。
- 複数のプロジェクターを検知すると、次のウィンドウがコンピューター画面に表示されます。



プロジェクターを選択し、［OK］をクリックしてください。選択したプロジェクターにコンピューターがログインし、コンピューターの映像が投写されます。

LAN Display System を操作する

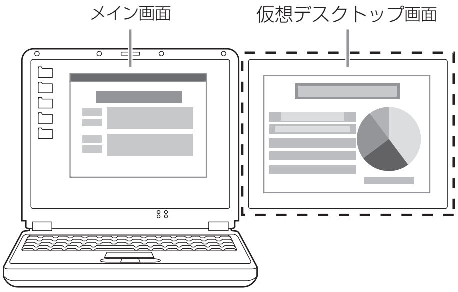
3 投写に関する操作をするには、メインユーザーインターフェイス上のボタンをクリックする



- **投写ボタン**
  映像をフルスクリーンで投写します。
- **分割投写 1 ～ 4 ボタン**
  分割投写したい画面の位置に応じた数字のボタンをクリックします。
- **停止ボタン**
  投写を停止します。
- **静止画ボタン**
  投写映像を一時的に停止します。
- **メニューボタン**
  メニューウィンドウを表示します。（次の操作を参照。）
- **終了ボタン**
  LAN Display System を終了します。

4 メインユーザーインターフェイスのメニューボタンをクリックしてメニューウィンドウを表示させ、機能を選択する

- Search Server
  ネットワーク上のプロジェクターを検索します。この項目を選択すると、LAN Display System による投写は自動的に停止します。
- Projection Source
  コンピューターの仮想デスクトップ機能によって表示される、メイン画面と仮想デスクトップ画面のいずれを投写させるかを選択します。



お知らせ

- 仮想デスクトップ機能は、Windows XP のみ対応しています。
- 仮想デスクトップ画面を投写するには、付属の Virtual display driver のインストールが必要です。

- Hide UI
  メインユーザーインターフェイスの表示／非表示を切り換えます。
- Exit
  LAN Display System を終了します。

LAN Display System を終了する —

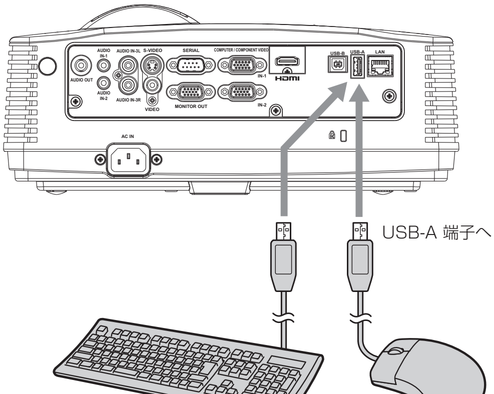
5 LAN Display System を終了するには、メインユーザーインターフェイスの終了ボタンをクリックする、またはメニューウィンドウで「Exit」を選択する

6 無線 LAN 通信の場合は、無線 LAN アダプターをプロジェクターから取り外す

- 取り外しの前には、必ずリモコンの UNPLUG ボタンを押し、◀、▶ボタンを押して［Yes］を選択し、ENTER ボタンを押します。

リモートデスクトップ機能を利用する —

マウスやキーボードなどの USB 機器をプロジェクターの USB-A 端子に接続してください。LAN ディスプレイ機能でコンピューター映像を投写している間、これらの USB 機器でコンピューターの操作を行うことができます。



1 台の USB 機器が接続できます。

お知らせ

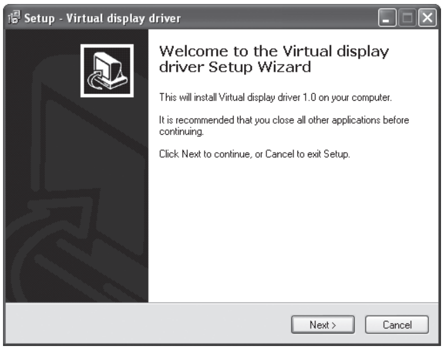
- 対応 USB 機器は、消費電力が 5V/500mA 未満の標準的な USB HID 機器です。

Virtual display driver をインストールする —

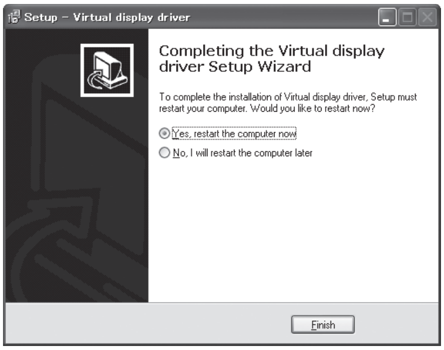
仮想デスクトップ画面を投写するには、Virtual display driver を次のようにしてインストールします。

1 「LAN Display System」フォルダーの中の「Virtual display driver.exe」をダブルクリックし、Virtual display driver のインストーラーを起動する

2 Setup ウィンドウが表示されるので、[Next] をクリックし、画面の説明に従って操作する



3 インストールが完了したら、コンピューターを再起動する



お知らせ

- 無線 LAN 通信時は、入力を「USB ディスプレイ」または「PC レスプレゼンテーション」に切り換えないでください。切り換えると、通信が切断されます。
- コンピューターの解像度は、映像が投写されるとプロジェクターの解像度に合わせて WXGA または XGA に切り換わります。また、LAN Display System を終了すると自動的に元の解像度に戻ります。
- 無線 LAN 通信時、プロジェクターはアクセスポイントとは通信できません。
- 利用できる無線 LAN 通信モードは、インフラストラクチャーモードのみです。アドホックモードは利用できません。

便利な表示機能（つづき）

PC レスプレゼンテーション機能

USB メモリーなどの USB 機器に JPEG 画像や PtG コンテンツを保存し、コンピューターを使わずに投写できます。
また、自動再生機能、スライドショー機能を利用すれば、効果的なプレゼンテーションが行えます。
PtG コンテンツを作成するには、付属 CD-ROM に同梱のソフトウェア「PtG Converter-Lite」をインストールする必要があります。

お知らせ

- 対応 USB メモリーフォーマットは、FAT32 です。
- USB メモリー内の一つの論理パーティションにのみ対応します。
- 対応 USB 機器は、消費電力 5V/500mA 未満の標準的な大容量 USB ストレージ機器です。
- JPG ファイルのプレビュー制限事項：
  - ファイルサイズ：10MB 以下
  - 画素数：　40 メガピクセル（24 ビット）以下
  - 画像サイズ：　8192 × 6144 以下
  - ファイル名：　ASCII 文字に対応
  - サムネイル：　ファイルサムネイル（EXIF より取得）に対応
- PtG ファイルのプレビュー制限事項：
  - ファイル名：ASCII 文字に対応
  - サムネイル：ファイルサムネイルに対応
- PC レスプレゼンテーション機能は、以下には対応しません。
  - 拡張 DCT ベースのプロセス
  - ロスレス・プロセス
  - 階層的プロセス
  - プログレッシブ・スキャン
  - YUV4:1:1、16 × 16 ピクセル のグレーレベル MCU の入力フォーマット
  - 幅が、YUV4:2:0/4:2:2 の場合は 64 ピクセル未満の、YUV4:4:4 の場合は 32 ピクセル未満のデコード画像
  - 高さが 32 ピクセル以下のデコード画像
  - 12 ビット／サンプルのソース画像

PtG Converter-Lite をインストールする

PtG Converter-Lite について

PtG Converter-Lite は、Microsoft Office PowerPoint で作成した PPT ファイルを PC レスプレゼンテーション機能で投写できる PtG ファイルに変換するソフトウェアです。PPT ファイルに含まれているポーズ／ページマークや動画も変換します。

機能

- 20 ページまでの PPT ファイルの変換
- 800 × 600、6bpp の PtG ファイルへの変換

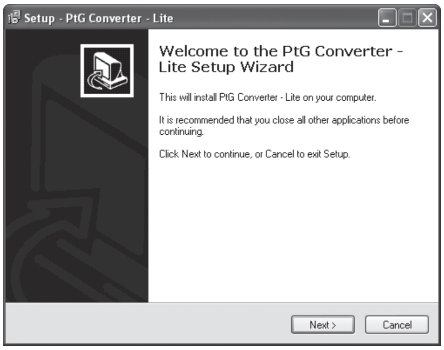
システム要件

- CPU：
  Intel Pentium-M 1.5G 以上
- メモリー：
  256 MB 以上（推奨）
- OS：
  Windows XP、Windows Vista、Windows 7
- Microsoft Office：
  Microsoft Office 2003、Microsoft Office 2007

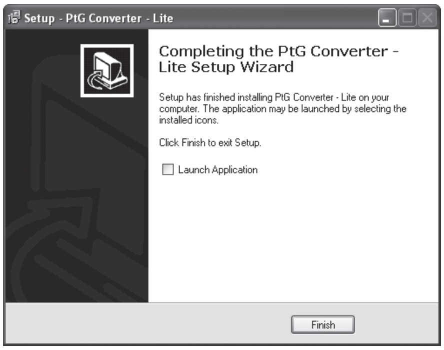
PtG Converter-Lite をインストールする

インストールする前に、必ず CD-ROM 内の「ReadMe(Jp).txt」をお読みください。
付属 CD-ROM の TOOLS フォルダー内にある「PtG Converter-Lite.exe」をコンピューターのハードディスクにコピーしてください。

1. **「PtG Converter-Lite.exe」をダブルクリックし、PtG Converter-Lite のインストーラーを起動する**
2. **Setup ウィンドウが表示されるので、[Next] をクリックする**
   - インストールが開始されます。



3. **インストールが完了したら、[Finish] をクリックする**



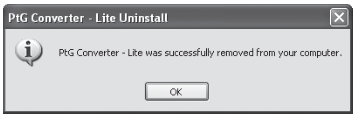
PtG Converter-Lite を削除する場合は（アンインストール）

お知らせ

- PtG Converter-Lite をアンインストールする場合は、事前に PtG Converter-Lite を終了しておいてください。起動したままでは正常にアンインストールできません。

1. **[スタート]-[すべてのプログラム]-[PtG Converter-Lite]-[Uninstall] を選択する**
2. **PtG Converter-Lite Uninstall ウィンドウが表示されるので、[はい] をクリックする**
   - アンインストールが開始されます。

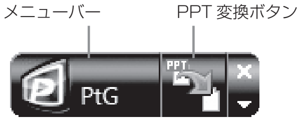
3 アンインストールが完了したら、[OK] をクリックする



- ログや設定ファイルは自動的に削除されます。

PtG Converter-Lite を使って PPT ファイルを PtG ファイルに変換する

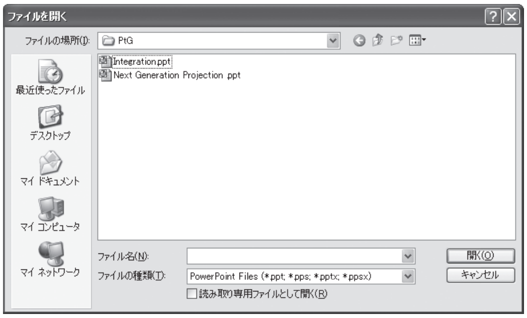
1 PtG Converter-Lite アイコン「」をクリックしてプログラムを起動する



- メニューバー：
  右クリックするとメニューが表示されます。
  - Max Circle Animation：
    動画の最大時間を選択します。
  - About：
    ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
  - Exit：
    PtG Converter-Lite を終了します。
- PPT 変換ボタン：
  PPT ファイルから PtG ファイルへの変換を開始します。

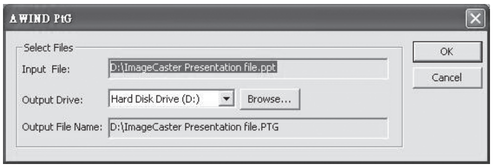
2 PPT 変換ボタンをクリックする

- ファイル選択画面が表示されます。



3 変換したい PPT ファイルを選択し、[開く] をクリックする

- ファイルの保存場所と保存名を指定する画面が表示されます。



4 保存場所と保存名を設定する

- 初期設定では、変換されたファイルは元と同じフォルダー内に保存されます。
- 初期設定では、変換されたファイルは元と同じ名前で保存されます。

5 [OK] をクリックして変換を開始する

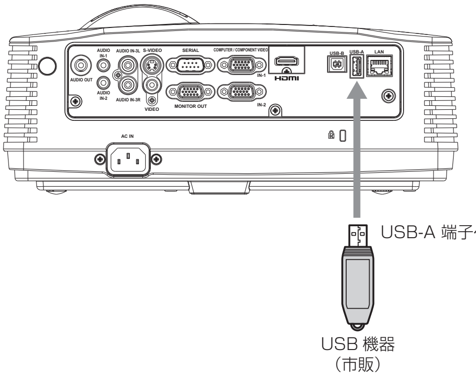
6 変換が完了したら、[OK] をクリックする

お知らせ

- コンピューター画面上で利用できるすべてのアニメーション効果を変換できます。ただし、以下には対応していません。
  - タイマー設定、繰り返し設定を行ったアニメーション効果
  - 一つの動作が 60 秒以上のアニメーション効果
  - 3 秒以上の休止時間が設定されたページ
  - VBA オブジェクトが埋め込まれたファイル
  - OLE オブジェクトが埋め込まれたファイル

接続する

プロジェクターの USB-A 端子に USB 機器を接続します。



お知らせ

- 本機の USB-A 端子は USB 2.0 に対応しています。
- 接続に USB ハブを使用しないでください。

PC レスプレゼンテーションを実行する

「PC レスプレゼンテーション」入力を選ぶ

1 リモコンの VIEWER ボタンまたは本体の COMPUTER ボタンを押す

- COMPUTER ボタンを押すたびに、入力が「コンピュータ 1」、「コンピュータ 2」、「HDMI」、「LAN ディスプレイ」、「USB ディスプレイ」、「PC レスプレゼンテーション」と切り換わります。
- 「PC レスプレゼンテーション」が選択されると、PC Less Presentation 画面が表示されます。

便利な表示機能（つづき）

設定する

2 ▲、▼ボタンを押して「Setup」を選び、ENTER ボタンを押す

● Setup 画面が表示されます。

3 ▲、▼ボタンを押して設定項目を選び、◀、▶ボタンを押して設定を変更する

● AutoRun：
自動再生機能とスライドショー機能の「入」「切」を設定します。

	自動再生機能	スライドショー機能
OFF	「切」にします。	「切」にします。
PtG	PtG ファイルに対して「入」にします。	すべてのファイルに対して「入」にします。
Photo	JPEG ファイルに対して「入」にします。	すべてのファイルに対して「入」にします。

● Interval：
PtG ファイルのポーズマークや写真ファイルのスライドショーの間隔を 5 秒、10 秒、30 秒、60 秒、300 秒のいずれかに設定します。

● Repeat：
写真ファイルと PtG ファイルに対する自動再生とスライドショーの繰り返しの「入」「切」を設定します。

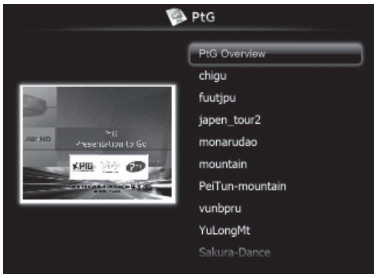
● Sorting：
ファイル並べ替えの基準を「File Name (Ascending)」、「File Name (Descending)」、「Time (New to Old)」、「Time (Old to New)」の中から選びます。

4 PC Less Presentation 画面に戻るには、ENTER ボタンを押す

PtG ファイルを表示する

5 ▲、▼ボタンを押して「Presentation to go」を選び、ENTER ボタンを押す

● ファイル選択画面が表示されます。



6 ▲、▼ボタンを押して表示したいファイルまたはフォルダーを選び、ENTER ボタンを押す

● フォルダーを選択すると、下層のファイル名が表示されます。ファイルを選択してください。
● 1 ページ目の画像が画面に表示されます。

7 ▲、▼、▶ボタンを押してページを変更する

● ▲ボタン：前のページが選ばれます。
● ▼ボタン：次のページが選ばれます。
● ▶ボタン：次のポーズが選ばれます。

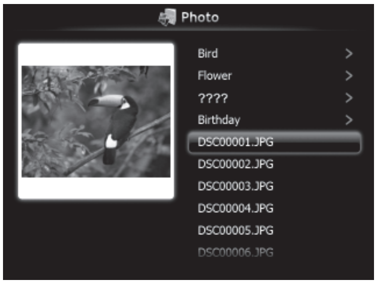
8 PtG ファイルの表示を終了するには、◀ボタンを押す

● 画面はファイル選択画面に戻ります。

JPEG ファイルを表示する

5 ▲、▼ボタンを押して「Photo Viewer」を選び、ENTER ボタンを押す

● ファイル選択画面が表示されます。



6 ▲、▼ボタンを押して表示したいファイルまたはフォルダーを選び、ENTER ボタンを押す

● フォルダーを選択すると、下層のファイル名が表示されます。ファイルを選択してください。
● 選択したファイルの画像が表示されます。

7 ▲、▼、▶ボタンを押してファイルを変更する

● ▲ボタン：前のファイルが選ばれます。
● ▼ボタン：次のファイルが選ばれます。
● ▶ボタン：次のファイルが選ばれます。

8 JPEG ファイルの表示を終了するには、◀ボタンを押す

● 画面はファイル選択画面に戻ります。

自動再生機能で表示する

5 コンピューターなどを使って USB 機器のルートディレクトリーに「AUTORUN」フォルダーを作成する

6 「AUTORUN」フォルダーに PtG ファイルまたは JPEG ファイルを保存する

お知らせ

- 自動再生機能は単一の PtG ファイルにのみ対応しています。複数の PtG ファイルが AUTORUN フォルダーに存在している場合は、はじめの PtG ファイルが再生されます。

7 USB 機器を USB-A 端子に接続する

- AutoRun 設定(「PtG」または「Photo」)で指定されたファイルが自動的に再生されます。

8 ENTER ボタンを押して再生を開始または一時停止する

9 ▲、▼、▶ボタンを押して再生するファイルを変更する

- ▲ボタン：前のページまたは前のファイルが選ばれます。
- ▼ボタン：次のページまたは次のファイルが選ばれます。
- ▶ボタン：次のポーズまたは次のファイルが選ばれます。

10 自動再生を停止するには、◀ボタンを押す

- 画面はファイル選択画面に戻ります。

スライドショー機能で表示する

5 ▲、▼ボタンを押して「Presentaiton to go」または「Photo Viewer」を選び、ENTER ボタンを押す

- ファイル選択画面が表示されます。

6 ▲、▼ボタンを押して表示したいファイルまたはフォルダーを選び、ENTER ボタンを押す

- フォルダーを選択すると、下層のファイル名が表示されます。ファイルを選択してください。
- PtG ファイルが選択されると、そのファイルがスライドショーで表示されます。
- JPEG ファイルが選択されると、その JPEG ファイルが存在するフォルダーに含まれるすべてのファイルがスライドショーで表示されます。

7 ENTER ボタンを押して再生を開始または一時停止する

8 ▲、▼、▶ボタンを押して再生するファイルを変更する

- ▲ボタン：前のページまたは前のファイルが選ばれます。
- ▼ボタン：次のページまたは次のファイルが選ばれます。
- ▶ボタン：次のポーズまたは次のファイルが選ばれます。

9 スライドショーによる再生を停止するには、◀ボタンを押す

- 画面はファイル選択画面に戻ります。

PC レスプレゼンテーションを終了する

USB 機器をプロジェクターから取り外してください。取り外す前には、必ずリモコンの UMPULUG ボタンを押し、◀、▶ボタンを押して［Yes］を選択し、ENTER ボタンを押してください。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することができます。パスワードロックを「入」にすると、電源を入れたとき、起動画面（スプラッシュ画面）が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

パスワードを設定する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「パスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- パスワードメニューが表示されます。

4 ▲、▼ボタンを押して「パスワードの変更」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

- 新しいパスワードを入力するための画面が表示されます。

- すでにパスワードが設定されているときは、代わりに現在のパスワードを入力する画面が表示されます。その場合は、次の操作と同様に操作して現在のパスワードを入力し、ENTER ボタンを押してください。これで新しいパスワードを入力するための画面が表示されます。

6 ▲、▶、▼、◀ボタンを押して 4 桁のパスワードを入力する

（▲ =1、▶ =2、▼ =3、◀ =4）

- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

7 ENTER ボタンを押す

8 MENU ボタンを押してメニューを消す

パスワードロックを「入」「切」する

- メニュー設定のしかたは 24 ページをご覧ください。

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「パスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- パスワードメニューが表示されます。

4 ▲、▼ボタンを押して「パスワード」を選ぶ

5 ◀、▶ボタンを押して「オン」または「オフ」を選ぶ

6 MENU ボタンを押してメニューを消す

パスワードを忘れたときは

パスワード入力画面が表示されているときにパスワードロックを「切」にしたいときは、本体操作部の MENU ボタンと ENTER ボタンを同時に押してください。

コンピューターによる監視と制御

本機はコンピューターによるプロジェクターの監視および制御を LAN 回線経由で行うことができます。

主な機能

- ProjectorView Global+
  プロジェクター一括制御・状態監視アプリケーション
  - 単体／複数のプロジェクターの一括操作
  - 曜日ごとの電源 ON/OFF スケジュール機能
  - プロジェクターの各種状態の取得と盗難検知
  - プロジェクターの IP アドレス設定
- AMX Device Discovery
  AMX 社のコントローラーシステムによりプロジェクターの監視・制御を行う
- Crestron RoomView Connected ™
  Crestron 社のコントローラーシステムおよびソフトウエアによりプロジェクターの監視・制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

ProjectorView Global+ について

- くわしくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧ください。

AMX Device Discovery について

- AMX 社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX 社が提唱する技術です。詳細に関しては、AMX 社の WEB サイトを参照してください。
  URL http://www.amx.com/

Crestron RoomView Connected ™ について

- Crestron 社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、Crestron 社が提唱する技術です。
  詳細に関しては、Crestron 社の WEB サイトを参照してください。
  URL http://www.crestron.com
  URL http://www.crestron.com/getroomview/

PJLink® について

- PJLink® 機能を使用するには、別途、PJLink® アプリケーションソフトが必要です。
- この機能を使用するには、ネットワーク認証「オン」/「オフ」設定を適当な値にセットします。（31 ページ参照）
- PJLink® の仕様に関しては、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の Web サイトを参照してください。
  URL　http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

お知らせ

- PJLink® 対応コマンドについては次ページの表をご覧ください。
- 以下の状態の時などで制御動作／監視データがうまく動作／取得できないことがあります。
  ・ スタンバイ時
  ・ 入力切り換え中
  ・ AUTO POSITION 実行中
  ・ AV ミュート中
  ・ コマンドの処理中
  ・ 電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが解除されるまでの間
- AV ミュート中などのとき、コマンドの返答に 5 秒ほどかかる場合があります。
- 1 台のプロジェクターに対して、1 台のコントローラーで制御／監視を行ってください。
- 実際の PJLink® による制御／監視の方法については、お使いになる PJLink® アプリケーションの使用説明書を参照してください。
- 本機能を用いてプロジェクターの監視を行う場合、状態問い合わせを連続で実施するときは、プロジェクターの返信を待ってから次の問い合わせを実施してください。

接続

接続についてくわしくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧ください。

プロジェクターの設置メニューのスタンバイモードの設定が「低」になっていると、LAN 接続が無効になります。LAN 接続を有効にするには、スタンバイモードの設定を「LAN」にしてください。

はじめにネットワークの初期設定を行ってください。
初期設定は本機のメニュー（35 ページ参照）または ProjectorView Global+ で行うことができます。
ProjectorView Global+ についてくわしくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧ください。

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、アプリケーションソフト「Projector View Global+」、「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」および Acrobat® Reader™が収録されています。

LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるには ──

以下の手順に従ってご覧ください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2 CD-ROM“PROJECTOR”を開く
3 “Manual.pdf”のアイコンをダブルクリックする

お知らせ

- LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるためには、コンピューターに Adobe® Reader® または Acrobat® Reader™が インストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

Acrobat® Reader™をインストールするには ──

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2 CD-ROM“PROJECTOR”を開く
3 “ACROBAT_READER”フォルダーを開く
4 インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5 画面の指示に従ってインストールする

PJLink® 対応コマンド

PJLink® プロトコルで本機で制御する際のコマンドは下表のとおりです。

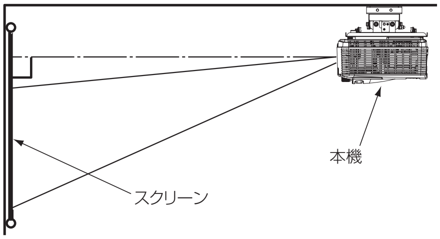
コマンド	制御内容	備考 （パラメーター）
POWR	電源制御	0 ＝スタンバイ 1 ＝電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	0 ＝スタンバイ 1 ＝電源「入」 2 ＝クーリング中 3 ＝ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	11 ＝コンピュータ 1　　12 ＝コンピュータ 2 21 ＝ビデオ　　22 ＝ S- ビデオ 31 ＝ HDMI 41 ＝ PC レスプレゼンテーション　　42 ＝ USB ディスプレイ 51 ＝ LAN ディスプレイ
INPT ?	入力切り換え問い合わせ	
AVMT	ミュート制御	30 ＝映像と音声のミュート解除 31 ＝映像と音声のミュート
AVMT ?	ミュート状態問い合わせ	
ERST ?	エラー状態問い合わせ	1 バイト目 : ファンエラーを意味し、0 または 2 2 バイト目 : ランプエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか 3 バイト目 : 温度エラーを意味し、0 または 2 4 バイト目 : カバーオープンエラーを意味し、0 または 2 5 バイト目 : 0 固定 6 バイト目 : その他のエラーを意味し、0 または 2 0 ～ 2 の各意味は以下のとおり 0 ＝エラーを検知していない　1 ＝警告　2 ＝エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	1 つ目の数字（1 ～ 5 桁）: ランプ積算時間（ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ 1 の使用時間が表示されます。） 2 つ目の数字 : 0 ＝ランプ消灯　1 ＝ランプ点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	下記の値を応答します “11 12 21 22 31 41 42 51”
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	ネットワーク設定メニューまたは Crestron RoomView Setup ウィンドウのプロジェクター名で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	“MITSUBISHI”と応答します
INF2 ?	機種名問い合わせ	“XD560”と応答します
INFO ?	その他情報問い合わせ	その他情報はありません。応答のパラメータは無しです
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	“1”と応答します

- 本プロジェクターは JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は、別売りの専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。
くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

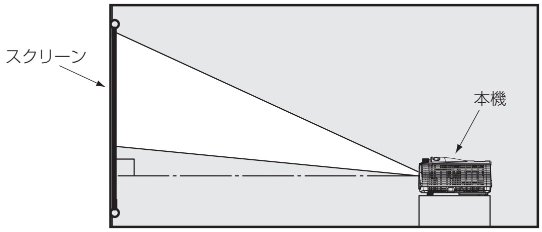


お知らせ

- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの画像反転の設定を「天吊り」にしてください。くわしくは、29 ページをご覧ください。
- ブレーカーなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカーなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



お知らせ

- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの画像反転の設定を「左右」にしてください。くわしくは 29 ページをご覧ください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど)やスプレーを使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れを拭き取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

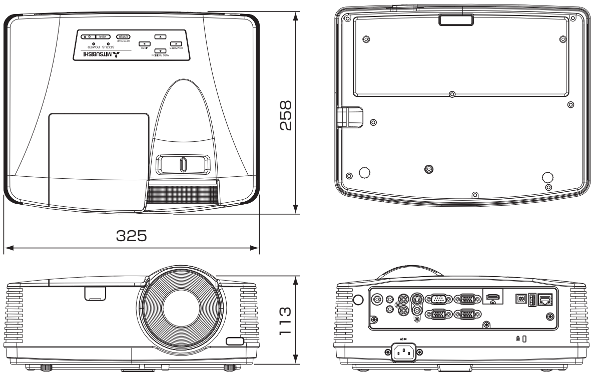
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

寸法図（参考）

単位は mm



光源ランプを交換する

本機には、DMD の映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。
本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。
光源ランプは､必ず別売りの専用光源ランプをご使用ください。
光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-XD560 用光源ランプ
形名：VLT-XD560LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸･排気ファンが止まるまで約 90 秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き 1 時間以上たって充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。
- 天吊り状態でランプ交換をする場合は、ガラス片が飛び散るおそれがありますので、本機または別売りの専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間が 4500 時間※1 を超えるとSTATUS インジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に 1 分間メッセージが表示されます。5700 時間 ※1 を超えると以後 30 時間※1 おきに画面上に 1 分間ランプ交換メッセージ(「ランプ交換」)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が6000 時間※1 ※2 を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取り出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります（白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用の VLT-XD560LP をご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

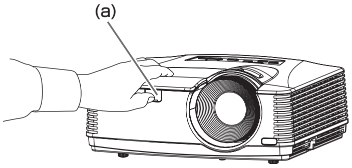
※1：ランプモードを「低」にした場合の時間（｢標準｣にした場合の時間は短くなります)。
※2：ランプモードを「低」にした場合の時間（｢標準｣にした場合の時間は3000 時間)。

ランプ交換のしかた

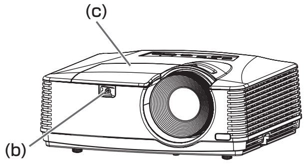
A）床置きの場合

本体が動かないように安定させてから作業してください。

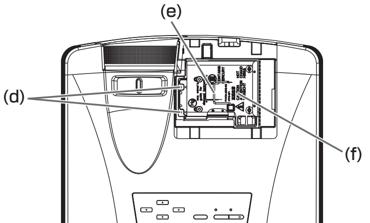
1 ランプカバー固定ネジの目隠しカバー（a）を指の爪を引っ掛けてはずす、または、指で外しにくい場合はマイナスドライバーのような先の細いものではずす



2 ネジ（b）を外し、ランプカバー（c）をスライドしてはずす



3 ランプユニット固定ネジ（ｄ）2 本をゆるめ、ランプユニットの取手（e）を持ってランプユニット（f）を取り出す



（注意）
- ランプを交換する場合、固定ネジ（ｄ）2 本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。

- ランプユニットを本体から取り外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜き出すとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

4 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定する

5 ランプカバーをネジ（b）で元のように取り付け、目隠しカバー（a）を取り付ける

（注意）
- ランプカバーの取り付けが不完全な場合、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

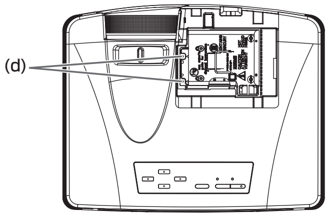
B）天吊りの場合

天吊りしているプロジェクターからランプユニットを取り外すときは、ガラスの破片などから身を守るため、本機または別売りの専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

1 「A）床置きの場合」の手順 1 と 2 を参照し、ランプカバーをはずす

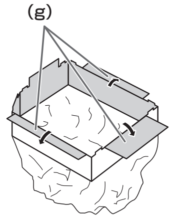
（注意）
- 天吊り設置のプロジェクターのランプを交換する場合、ランプカバーの内側にガラスの破片があることがありますので、ランプカバーを取り外すときは十分注意してください。

2 ランプユニット固定ネジ（ｄ）２本をゆるめる

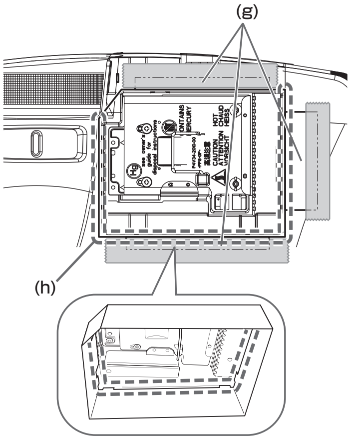


（注意）
- ランプを交換する場合、固定ネジ（ｄ）２本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。

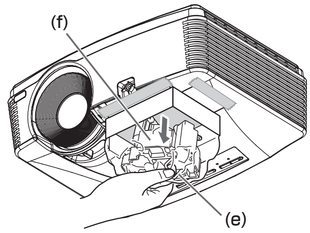
3 付属のランプ交換用アタッチメントのテープ貼り付け部（ｇ）を、図のように折り曲げ線に沿って折る



4 ランプ交換用アタッチメントをプロジェクターのランプカバー取り付け部の縁（h）に合わせ、ランプ交換用アタッチメントに同梱のテープでテープ貼り付け部３箇所（g）を固定する



5 袋の上からランプユニットの取手（e）を持ってランプユニット（f）を取り外す



6 ランプ交換用アタッチメントを固定しているテープをはがし、ランプユニットが袋に入った状態でランプ交換用アタッチメントごとはずす

（注意）
- ランプユニットを本体から取り外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜き出すとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

7 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定する

8 ランプカバーをネジ（b）で元のように取り付け、目隠しカバー（a）を取り付ける

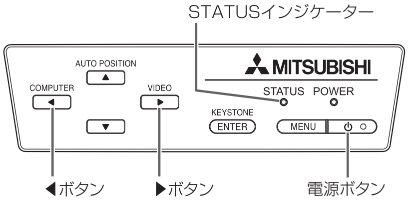
（注意）
- ランプカバーの取り付けが不完全な場合、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

光源ランプを交換する（つづき）

ランプ使用時間をリセットする

1 電源プラグをコンセントに接続する

2 本体操作部の◀、▶ボタン、および電源ボタン（⏻）を同時に押す



お知らせ

- 3 つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUS インジケーターが赤色に 2 回点滅し、リセットされたことを確認してください。
- ランプ使用時間がランプ寿命を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプ交換をしていないときは、使用時間をリセットしないでください。

※ ランプ寿命時間については 52 ページ参照。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>• 電源コードを本機に接続する。
• 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
オレンジ点滅</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
• 暖房の吹き出しが排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
緑点滅</td><td>• STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
• ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約 1 分間点灯できなくなる場合があります。
• 光源ランプを消灯した後、約 1 分間は再点灯できません。
• 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>• 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⇄
赤 / 緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>• ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
○ ⇄
点滅</td><td>• 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● AV MUTE ボタンを押して AV ミュートを解除する。
● ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する。（52、53 ページ参照）
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器をあわせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
（このとき STATUS インジケーターはオレンジ点滅しています。）
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。（STATUS インジケーターが消灯するまで待つ。）
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 約 10 分ほど待つ。
4. 電源プラグをコンセントに接続する。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUS インジケーターが赤く点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>● パスワードメニューの「パスワード」が「オン」に設定され、パスワードロック機能がはたらいています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。</td></tr>
</table>

故障かなと思ったら（つづき）

映像が映らない（つづき）

現象	確認／処置
「信号がありません」が 表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。（特にノートタイプのコンピューターの場合） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB 接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器をあわせてご使用ください。

映像がおかしい

現象	確認／処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITION ボタンを押す。 ● コンピューターの種類によってはまれに規格外の信号が出力される場合があるので、信号設定メニューで調整する。（34 ページ参照） ● WXGA 信号を入力している場合は、オプションメニューの WXGA の設定をご確認ください。 ● 入力信号が WXGA 信号以外のときは、オプションメニューの WXGA の項目で「オフ」を選んでください。
映像がひずむ	● 本機と投写面が直角になるように調整する。（14 ページ参照）
映像が暗い	● 映像メニューのブライトネスの調整をする。（33 ページ参照） ● レンズキャップをはずす。 ● ランプを交換する。（52 ページ参照）
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。（13、20 ページ参照） ● レンズをきれいに拭く。 ● レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 映像メニューのブライトネスおよびコントラストの調整をする。（33 ページ参照） ● 本機と投写面が直角になるように調整する。（14 ページ参照）
画面が焼き付く （残像がある）	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。（ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。）
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLP® プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 （一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99% 以上は有効な画素数です。）
映像に細かい縞模様が 見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。 ● ご使用になる DVD プレーヤー、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を「オン」に設定することによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。
映像（および音声）が 乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューのコンピュータ入力の設定が正しく設定されているか確認する。（27 ページ参照） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を 2 台以上投写し、比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピューターの動画部分だけが表示できない	● コンピューターの問題です。コンピューターメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピューターの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。（60 ページ参照） コンピューターの出力解像度の変更については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。

映像がおかしい（つづき）

現象	確認／処置
映像がちらつく	● 電源ボタンまたはリモコンの ON ボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。 ● 入力切り換え、AUTO POSITION 調整、「画像」の切り換え時等に一時的に画像がちらつくことがありますが、故障ではありません。
映像がピクつく	● プロジェクターが振動している可能性があります。設置メニューの自動台形補正を「オフ」にしてください。または、リモコンの VOLUME DOWN ボタンを押して音量を下げてください。

その他

現象	確認／処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じられることがありますが、故障ではありません。
外部音声出力が出ない または小さい	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。 ● オーディオ入力の設定を確認する。 ● 外部機器が HDMI ケーブルで接続されているときは、外部機器の音声出力を PCM 出力に設定してください。 ● アンプを内蔵していないマイクを接続した場合、入力信号が小さいため外部音声出力が小さくなります。 →アンプ内蔵のマイクを使う。または、外付けのマイクアンプを使う。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示（点滅）される	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない、 効きにくい	● 電池が消耗していないか確認する。（2 ページ参照） ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する。（10 ページ参照） ● リモコンの操作範囲から外れていませんか。（10 ページ参照）
スタンバイ中、ファンの回転音がする	● 設置メニューのスタンバイモードの設定を「LAN」、「スピーカー出力」、「モニター出力」にすると、電源プラグ差し込み後、スタンバイ状態で冷却ファンが（約 5 秒間高速回転したあと）極低速で回転します。また、ランプ消灯後も、スタンバイ状態で冷却ファンが極低速で回転します。これは、スタンバイ中も各種機能を動作させているプロジェクターを冷却するためであり、異常ではありません。
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが、故障ではありません。

ランプ交換のあとで以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認／処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。
STATUS インジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする。（54 ページ参照）

索引

あ

アフターサービス 62
色温度 25, 33
色の濃さ 26, 33
映像メニュー 25
オーディオメニュー 28
オートパワーオフ 29
オートパワーオン 29
オプションメニュー 30

か

画角 21, 25
画像 25, 34
画像反転 29, 51
カラーマネージメント 25, 33
乾電池を入れる 2
ガンマ補正 34
クランプ位置 27, 34
クランプ幅 27, 34
言語 29
コントラスト 25, 33
コンピューターとの接続 11

さ

3D 22
色調 26, 33
シネマモード 30
シャープネス 26, 33
仕様 59
上部曲がり補正 27, 34
情報メニュー 32
信号設定メニュー 27
スタンバイモード 29
接続 11
　コンピューター 11
　ハイビジョンデジタル
　チューナー 18
　ビデオ機器 18
　DVD プレーヤー 18
　HDMI 出力端子付きビデオ機器 19
接続できる信号の種類 60
設置メニュー 29

た

台形補正 15
ダイレクトパワーオフ 21
投写角度の調整 14
投写距離 13

な

ネットワーク設定メニュー 31

は

パスワードロック 48
バックカラー 17, 30
ビデオ画像メニュー 26
ビデオ機器との接続 18
ビデオ信号 30
ピントの調整 13, 20
付属品 2
ブライトネス 25, 33
分周比 27, 34
別売品 59

ま

メニュー位置 29
メニューの設定のしかた 24

ら

ランプカバー 8, 52
ランプ交換 52
ランプモード 29, 32, 52
リモコン受光部 10

A

ASPECT ボタン 21
AUTO POSITION ボタン 14, 34
AV MUTE ボタン 16

C

COMPUTER ボタン 13, 20

D

DVD プレーヤーとの接続 18

F

FREEZE ボタン 21

H

HDMI 出力端子付きビデオ機器との接続 ... 19
HDMI ボタン 20

L

LAN 49
LAN ディスプレイ 41

M

MAGNIFY ボタン 16
MENU ボタン 24

P

PC レスプレゼンテーション 44
POWER インジケーター
.... 8, 12, 19, 55, 61

S

STATUS インジケーター
.... 8, 14, 20, 52, 54, 61

U

USB ディスプレイ 40

V

VIDEO ボタン 20
VOLUME ボタン 14, 15, 18, 20

端子について

COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1、IN-2 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI 端子（HDMI19 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0−	16	SDA
3	TMDS Data2−	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock−	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1−	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	−		

MONITOR OUT 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	−
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	−
4	−	12	−
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	−
8	GND		

SERIAL（RS232C）端子（D-Sub 9 ピン）

PIN No.	名称	I/O
1	TXD	入力
2	−	−
3	−	−
4	GND	−
5	−	−
6	−	−
7	RXD	出力
8	−	−

※ コンピューターで本機を制御するときに使用します。シリアルケーブルはクロスタイプのものをご使用ください。
くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

仕様 （仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形名			LVP-XD560
表示方式			DLP®（単板 DLP® チップ）
光学方式			時分割色分離・合成方式
表示素子	サイズ		0.55 形× 1（枚）、アスペクト比 4：3
	画素数		786,432 画素（1024 × 768）× 1 枚
投写レンズ	焦点距離		f ＝ 16.0 ～ 25.6mm
	F 値		F2.6 ～ 3.2
光源			高圧水銀ランプ　230W
画面サイズ（投写距離）			40 形～ 300 形（ワイド端のみ）、1.1 ～ 9.4m
再現色数			1,677 万色（フルカラー）
スピーカー音声出力			10W、モノラル　個数 1
表示可能解像度	コンピューター信号入力時		最大入力解像度：1600 × 1200 ドット（圧縮表示）
			パネル解像度：1024 × 768 ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC 水平解像度：600TV 本（S 端子入力時）
	コンポーネントビデオ信号入力時		480i、576i、480p、576p、1080i、720p、1080p
コンピューター入出力	コンピューター入力	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB または Y/P_B/P_R または Y/C_B/C_R 信号対応）、2 系統 • RGB：0.7Vp-p 75 Ω /1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • P_BP_R/C_BC_R：0.7Vp-p 75 Ω • HD/CS：TTL レベル（負または正極性） • VD：TTL レベル（負または正極性）
		音声入力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、2 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	コンピューター出力	映像出力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB/Y/P_B/P_R/Y/C_B/C_R 出力）、1 系統 • コンピューター入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（ビデオ出力と共有）
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA 端子、1 系統 • 1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） S 端子、1 系統 • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • C：0.286Vp-p 75 Ω（バースト信号）
		音声入力	RCA 端子× 2（L、R）、1 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	HDMI 入力	映像入力	HDMI（19 ピン）、1 系統（音声は PCM にのみ対応）
	ビデオ出力	音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（コンピューター出力と共有）
制御入出力 / その他			SERIAL（RS232C）端子（D-Sub 9 ピン）：1 系統（プロジェクター本体制御用） LAN 端子（RJ-45）：1 系統
使用温度 / 使用湿度			使用温度範囲：5 ～ 35℃（使用湿度範囲：30 ～ 90%）
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			3.4A　340W 待機時：0.4W（スタンバイモード「低」時）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			325mm × 113mm × 258mm
質量			約 3.5kg

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	（形名 SCR-A50P） （形名 SCR-A60P） （形名 SCR-A80P）
光源ランプ	（形名 VLT-XD560LP）

仕様（つづき）

接続できる信号の種類

信号モード	解像度（H × V）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	通常表示（H × V）	
TV60, 480i（525i）	-	15.73	59.94	1024 × 768	*2 *4
TV50, 576i（625i）	-	15.63	50.00	1024 × 768	*2
1080i 60（1125i 60）	-	33.75	60.00	1024 × 576	*2 *3
1080i 50（1125i 50）	-	28.13	50.00	1024 × 576	*2 *3
480p（525p）	-	31.47	59.94	1024 × 768	*2 *3 *4
576p（625p）	-	31.25	50.00	1024 × 768	*2 *3
720p 60（750p 60）	-	45.00	60.00	1024 × 576	*2 *3 *4
720p 50（750p 50）	-	37.50	50.00	1024 × 576	*2 *3
1080p 60（1125p 60）	-	67.50	60.00	1024 × 576	*2 *3
1080p 50（1125p 50）	-	56.25	50.00	1024 × 576	*2 *3
CGA84	640 × 400	37.86	84.13	1024 × 640	
CGA85	640 × 400	37.86	85.08	1024 × 640	
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1024 × 768	*3 *4
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1024 × 768	
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1024 × 768	
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1024 × 768	
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1024 × 768	
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1024 × 768	*3 *4
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1024 × 768	
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1024 × 768	
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1024 × 768	
XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	1024 × 768	*3 *4
XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	1024 × 768	
XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	1024 × 768	
HP75	1024 × 768	62.94	74.92	1024 × 768	
XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	1024 × 768	
XGA120	1024 × 768	97.55	119.99	1024 × 768	*3 *4
SXGA70a	1152 × 864	63.85	70.01	1024 × 768	
SXGA75a	1152 × 864	67.50	75.00	1024 × 768	
SXGA85a	1152 × 864	77.49	85.06	1024 × 768	
WXGA60	1280 × 768	47.77	59.87	1024 × 614	
WXGA60a	1280 × 800	49.70	59.81	1024 × 640	*3 *4
WXGA60b	1360 × 768	47.71	60.01	1024 × 578	
WXGA60c	1366 × 768	47.71	59.79	1024 × 575	*1 *2
WXGA120a	1280 × 800	101.56	119.91	1024 × 640	*3 *4
SXGA60b	1280 × 960	60.00	60.00	1024 × 768	*3
SXGA75b	1280 × 960	75.00	75.00	1024 × 768	
SXGA85b	1280 × 960	85.94	85.00	1024 × 768	
SXGA60	1280 × 1024	63.98	60.02	960 × 768	*3
SXGA75	1280 × 1024	79.98	75.02	960 × 768	
SXGA85	1280 × 1024	91.15	85.02	960 × 768	
SUN66a	1152 × 900	61.85	66.00	984 × 768	
SUN76a	1152 × 900	71.81	76.64	984 × 768	
SUN66	1280 × 1024	71.68	66.68	960 × 768	
SUN76	1280 × 1024	81.13	76.11	960 × 768	
SGI72	1280 × 1024	76.92	72.30	960 × 768	
SGI76	1280 × 1024	82.01	76.00	960 × 768	
WXGA+60	1440 × 900	55.94	59.89	1024 × 640	*3
SXGA+60	1400 × 1050	65.32	59.98	1024 × 768	*3
SXGA+75	1400 × 1050	82.28	74.87	1024 × 768	
UXGA60	1600 × 1200	75.00	60.00	1024 × 768	*3
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	1024 × 768	
MAC16	832 × 624	49.72	74.55	1024 × 768	
MAC19	1024 × 768	60.24	75.02	1024 × 768	

*1： 入力信号が WXGA60、WXGA60a、WXGA60b、または WXGA60c の場合、オプションメニューの WXGA にて適切な画面サイズを選択してください。
*2： 画面拡大機能には対応していません。
*3： HDMI 端子はこれらの信号に対応しています。
*4： 3D 動画の視聴に対応しています。

お知らせ

- 最大解像度は、1024 × 768 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。（このとき、信号設定－ユーザーメニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。）
- SYNC ON G 対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080i はハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などを RGB 信号で入力するときは、信号設定メニューのコンピュータ入力の設定を「RGB」にしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480i、576i、480p、576p の 5 線（R、G、B、H、V）および 4 線（R、G、B、CS）出力機器について、本機は対応していません。
- TV60 と TV50 はそれぞれ 480i と 576i と等価です。VIDEO 端子あるいは S-VIDEO 端子から入力された場合、信号表示は TV60 あるいは TV50 となります。COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN 端子から入力された場合、表示は 480i あるいは 576i となります。

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが 2 つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになってそれでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	○ 消灯	電源スタンバイ状態	
	○ ⇄ 緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	○ ⇄ 緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	備考
緑点灯 または 赤点灯	○ ⇄ オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ● 吸気口または排気口をふさいでいる。 ● 暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	● ふさいでいる物をとる。 ● 設置場所を変える。
赤点灯	○ ⇄ 緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	● STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
緑点灯	赤 / 緑点滅	ランプ交換表示※1（電源が「入」のとき）	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
赤点灯	○ ⇄ 赤点滅	ランプ交換表示※1（電源が「切」のとき）	
	赤点灯	ランプ交換表示※2	
赤 / 緑点滅	○ 消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
	点灯 または ○ ⇄ 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

※1：約 4500 時間使用時
ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2：約 6000 時間使用時
ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約 3000 時間）。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から１年間です
但し、ランプは１年以内で500時間まで

■補修用性能部品の最低保有期間

●当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低８年間保有しています。
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●光源ランプなどの消耗部品の他に、DMD、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間（毎日６時間以上）ご使用されると、１年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンター（ホームシアターの場合は、お近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」）にご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎**「故障かなと思ったら」**の手順にしたがって、お調べください。
●なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1.	品　　名	三菱 DLP® プロジェクター
2.	形　　名	LVP-XD560
3.	お買上げ日	年　月　日
4.	故障の状況	（できるだけ具体的に）
5.	ご住所	（付近の目印なども）
6.	お名前・電話番号・訪問希望日	

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
（携帯電話、PHSでお問い合わせの場合）

■受付時間　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前９：00～12：00/午後１：00～９：00

FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

三菱電機株式会社（本社窓口）

購入、買替えのご相談は
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）

■ 受付時間　平日（土日・祝日・弊社指定休日除く）
午前９：00～12：00/午後１：00～５：30

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

MEMO

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このDLP® プロジェクターの形名はLVP-XD560です。

愛情点検 ● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。		故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

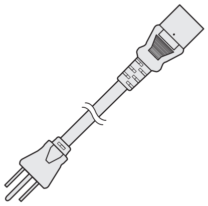
DLP®プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617−8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

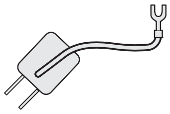
Ver.1

付属品

■ 電源関係

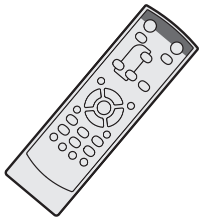


電源コード

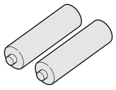


変換アダプター

■ リモコン関係

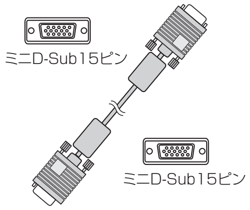


リモコン



単三乾電池(2本)

■ 映像関係



コンピューターケーブル

■ その他

- レンズキャップ
- ランプ交換用アタッチメント
- CD-ROM
- 取扱説明書/クイックスタートアップ
- 保証書
- 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ソフトキャリングケース

故障かなと思ったら ー 電源が入らない、映像が映らない

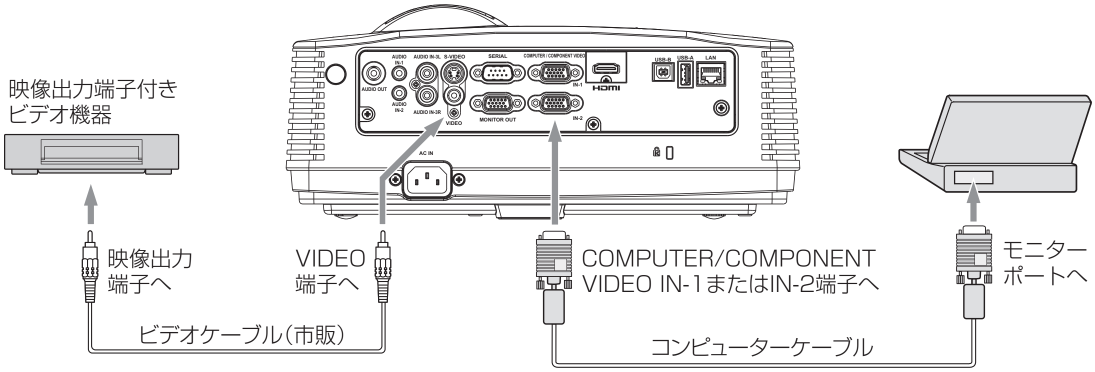
<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
緑点滅</td><td>● STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
• ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約 1 分間点灯できなくなる場合があります。
• 光源ランプを消灯した後、約 1 分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⇄
赤 / 緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>● ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
○ ⇄
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● AV MUTE ボタンを押して AV ミュートを解除する。
● ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器をあわせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
</table>

MITSUBISHI

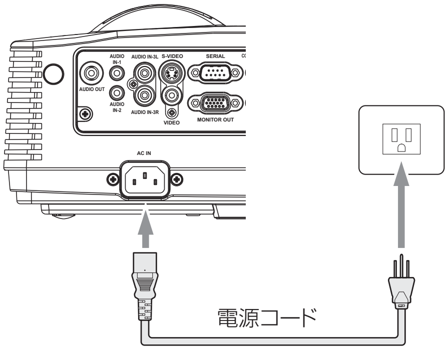
三菱 DLP® プロジェクター
形名　LVP-XD560

クイックスタートアップ

1



2

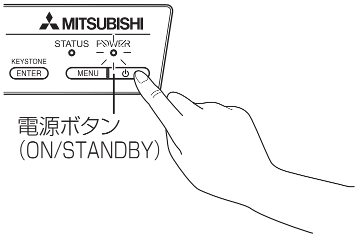


5

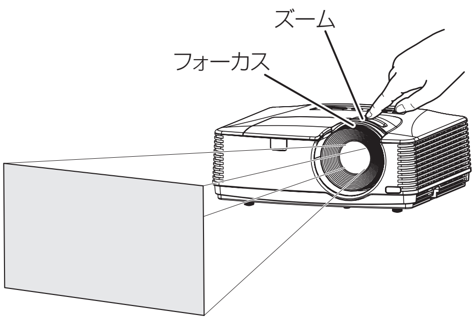
ノートタイプのコンピューターの映像が
映らないとき

[Fn] キー ＋ [F1] ～ [F12]
キーのいずれか（機種に
よって異なる）を押す

3



4



Printed in China